

**日向市 子ども・子育て支援に関する
ニーズ調査集計報告書**

日向市 福祉部 こども課

令和6年8月

目 次

1 調査の概要

- (1) 調査の目的..... 1
- (2) 調査の実施要領..... 1
- (3) 報告書の見方..... 1

2 調査結果

- (1) お住まいの地域について 2
- (2) お子さまとご家族の状況について 3
- (3) 子どもの育ちをめぐる環境について 5
- (4) 保護者の就労状況について..... 9
- (5) 平日に定期的に利用している幼稚園や保育所、認定こども園などについて【就学前児童】
.....14
- (6) 地域子育て支援事業の利用状況について【就学前児童】20
- (7) お子さまの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について
【就学前児童】 23
- (8) 放課後児童クラブの利用について【小学校児童】25
- (9) お子さまの病気の際の対応について30
- (10) お子さまの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかが
います。 .34
- (11) 小学校就学後の放課後の過ごし方について【5歳以上の就学前児童】39
- (12) 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について【就学前児童】42
- (13) お住まいの地域の子育て支援事業や環境の満足度について。(単数回答)48
- (14) お子さまの子育てや家庭生活などについて49

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、平成7年度から始まる「(仮)日向市こども計画」を作成するにあたって、市民の皆様が必要としている「子育て支援に関するニーズ」や「子ども子育てに関する意向」を把握することを目的に調査を実施しました。

(2) 調査の実施要領

- 調査地域：日向市全域
- 調査対象者：日向市在住の「就学前児童」をお持ちの世帯・保護者（就学前児童調査）
日向市在住の「小学生」をお持ちの世帯・保護者（小学生児童調査）
- 抽出方法：住民基本台帳より、就学前児童（0歳～5歳）1,500人、小学生（6歳～11歳）500人の合計2,000人
- 調査時期：令和6年5月
- 調査方法：幼稚園、保育所（園）、認定こども園、小学校、放課後子ども教室、放課後児童クラブを通じて配布回収、入園していない児童に関しては、郵送配布・郵送回収

調査票	調査対象者数 (配布数)	有効回答数	有効回答率
就学前児童	1,500件	1,105件	73.7%
小学生児童	500件	404件	78.4%

(3) 報告書の見方

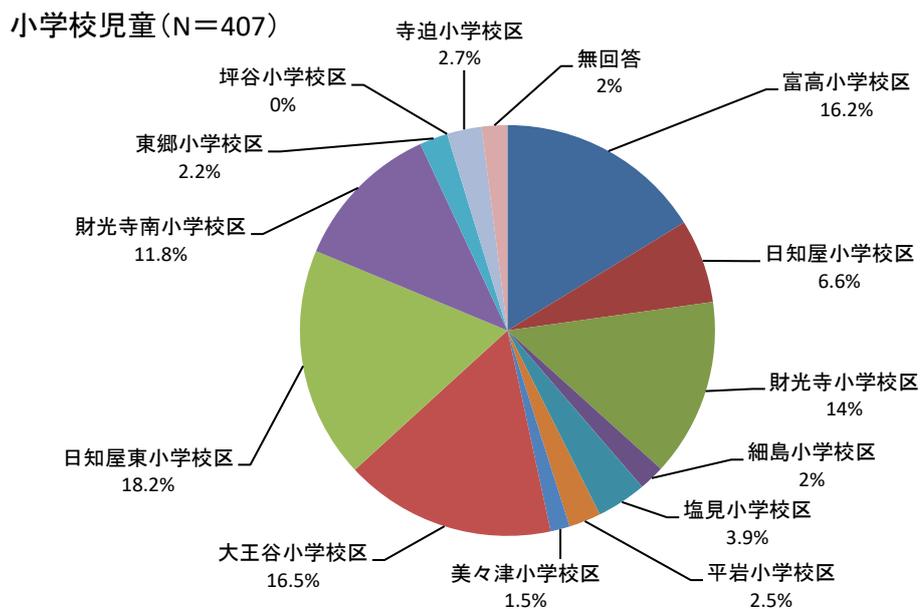
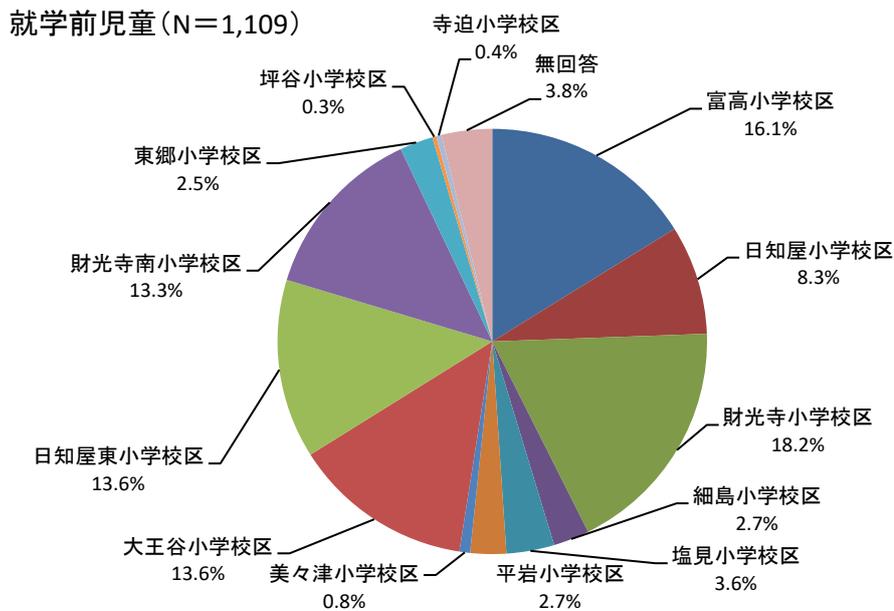
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

2 調査結果

(1) お住まいの地域について

①お住まいの地区（単数回答）

居住地区は、以下のとおりとなっています。

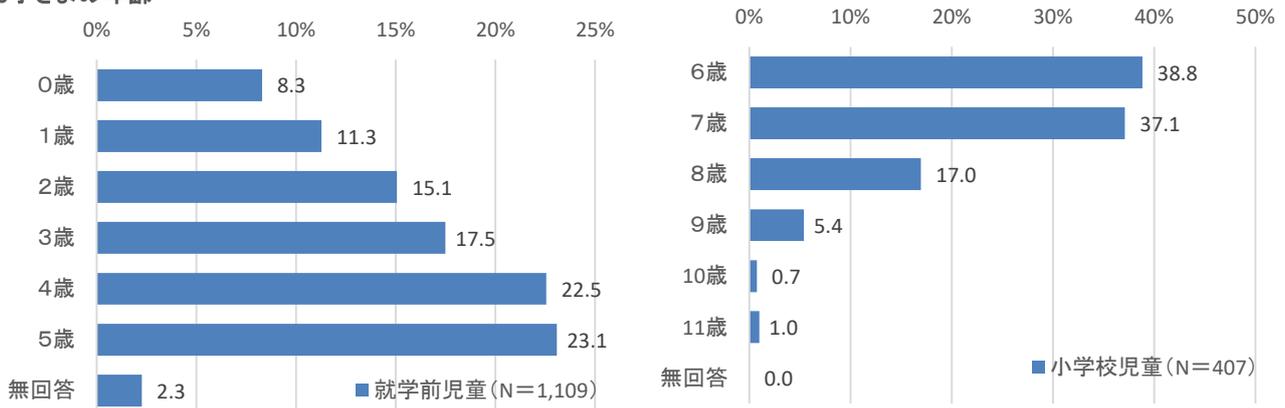


(2) お子さまとご家族の状況について

① お子さまの年齢をご記入ください。(数量回答)

就学前児童は0歳 8.3%、1歳 11.3%、2歳 15.1%、3歳 17.5%、4歳 22.5%、5歳 23.1%となっています。小学校児童は、6歳 38.8%、7歳 37.1%、8歳 17.0%、9歳 5.4%、10歳 0.7%、11歳 1.0%となっています。

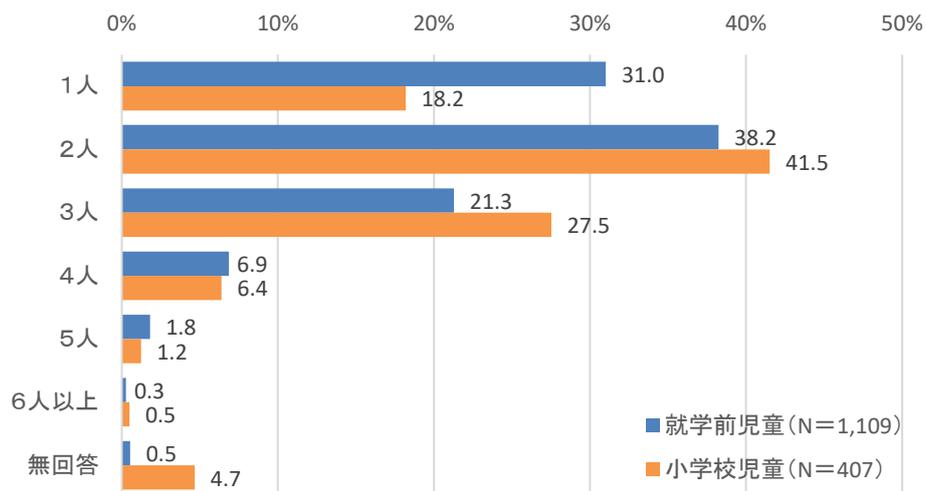
お子さまの年齢



② お子さまのきょうだいは何人いらっしゃいますか。(数量回答)

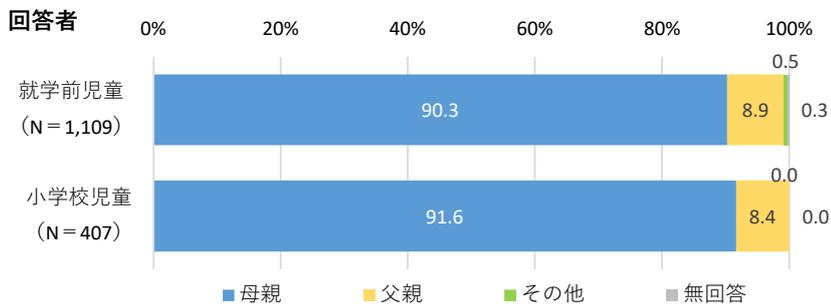
就学前児童、小学校児童ともに「2人」の割合が最も高くそれぞれ 38.2%、41.5%となっています。

きょうだい数



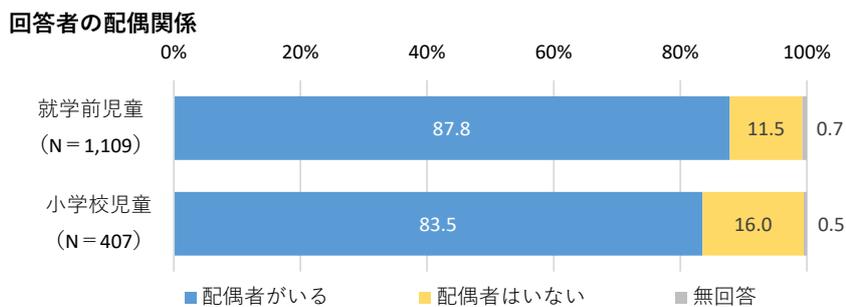
③ご回答いただく方はどなたですか。お子さまから見た関係でお答えください。(単数回答)

「母親」の割合が就学前児童で 90.3%、小学校児童で 91.6%、「父親」が就学前児童で 8.9%、小学校児童で 8.4%となっています。



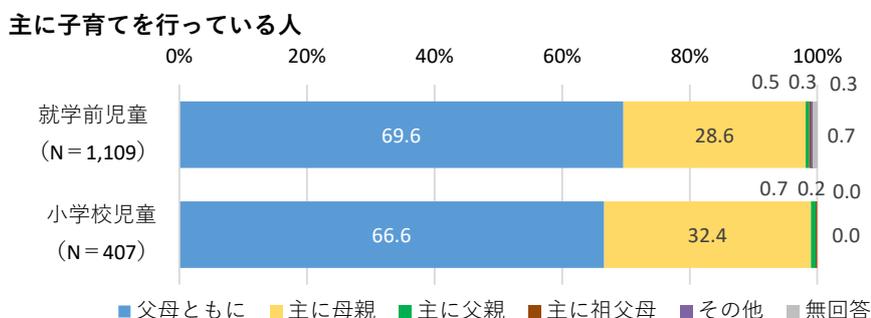
④この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について (単数回答)

「配偶者がいる」の割合が就学前児童で 87.8%、小学校児童で 83.5%、「配偶者はいない」が就学前児童で 11.5%、小学校児童で 16.0%となっています。



⑤お子さまの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さまから見た関係で (単数回答)

「父母ともに」の割合が就学前児童で 69.6%、小学校児童で 66.6%と最も高く、次いで、「主に母親」が就学前児童で 28.6%、小学校児童で 32.4%と他は以下のとおりとなっています。

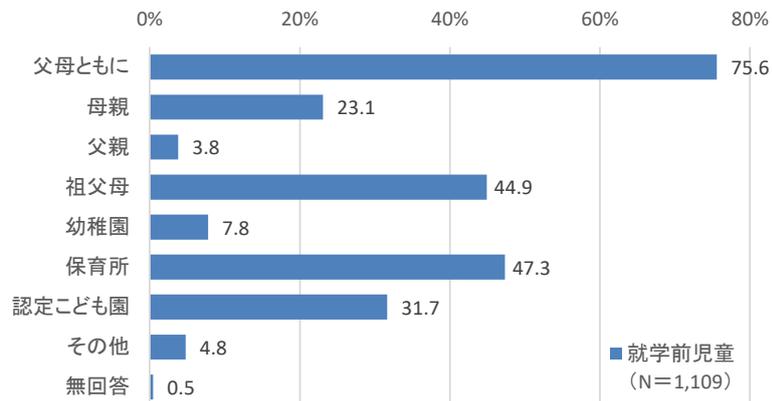


(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

①お子さまの子育て（教育を含む）に日常的にかかわっている方はどなた（施設）ですか。（複数回答）【就学前児童のみ】

「父母ともに」の割合がもっとも高く 75.6%、次いで「保育所」47.3%、「祖父母」44.9%、「認定こども園」31.7%と他は以下のとおりとなっています。

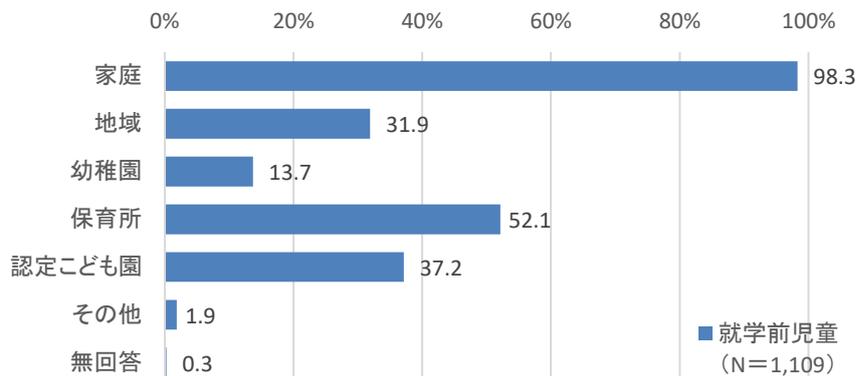
子育てに日常的にかかわっている方



②お子さまの子育て（教育を含む）に、特に影響すると思われる環境（複数回答）【就学前児童のみ】

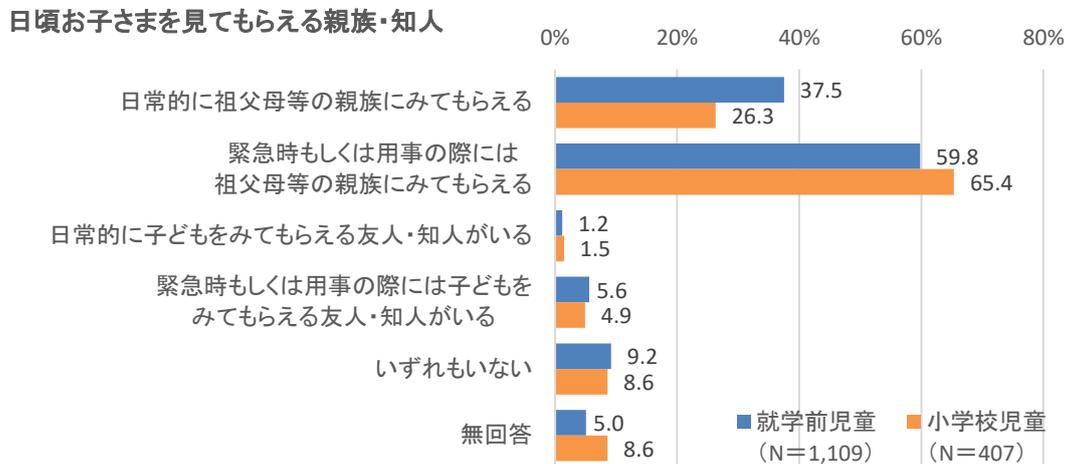
「家庭」の割合がもっとも高く 98.3%、次いで「保育所」52.1%、「認定こども園」37.2%、「地域」31.9%と他は以下のとおりとなっています。

子育てに影響すると思われる環境



③日頃、お子さまを見てもらえる親族・知人はいますか。(複数回答)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が就学前児童で 59.8%、小学校児童で 65.4%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が就学前児童で 37.5%、小学校児童で 26.3%と他は以下のとおりとなっています。

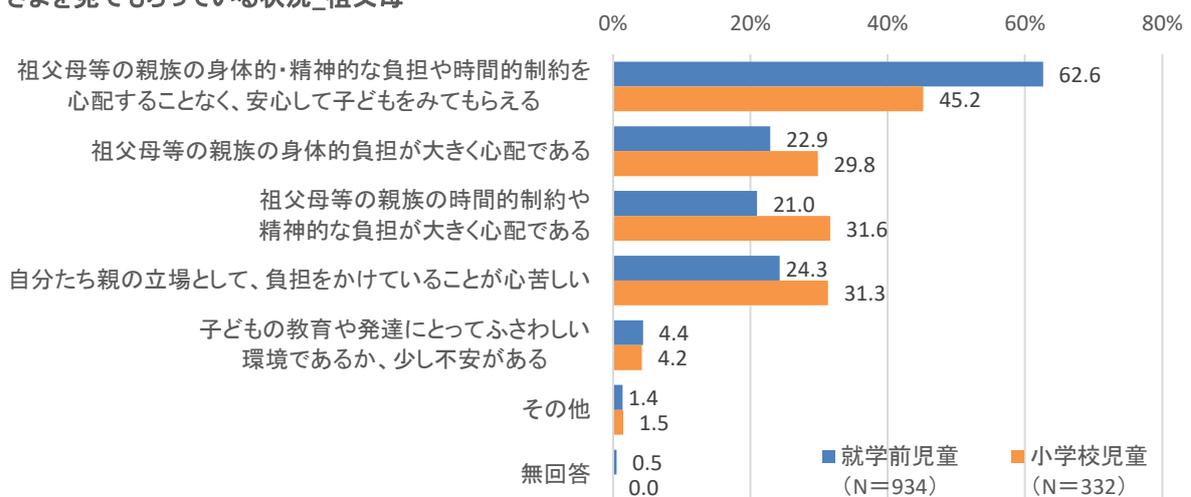


③で「祖父母等の親族にみてもらえる」を選んだ方

③-1 祖父母等の親族にお子さまをみてもらっている状況についてお答えください。(複数回答)

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が就学前児童で 62.6%、小学校児童で 45.2%と最も高く他は以下のとおりとなっています。

お子さまを見てもらっている状況_祖父母

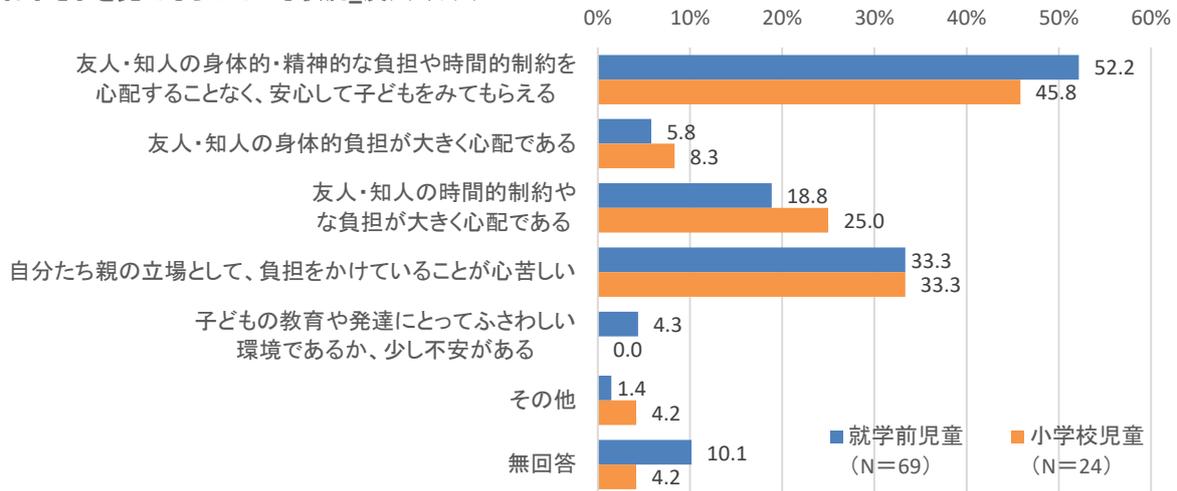


③で「友人・知人にみてもらえる」を選んだ方

③-2 友人・知人にお子さまをみてもらっている状況についてお答えください。(複数回答)

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が就学前児童で52.2%、小学校児童で45.8%と最も高く他は以下のとおりとなっています。

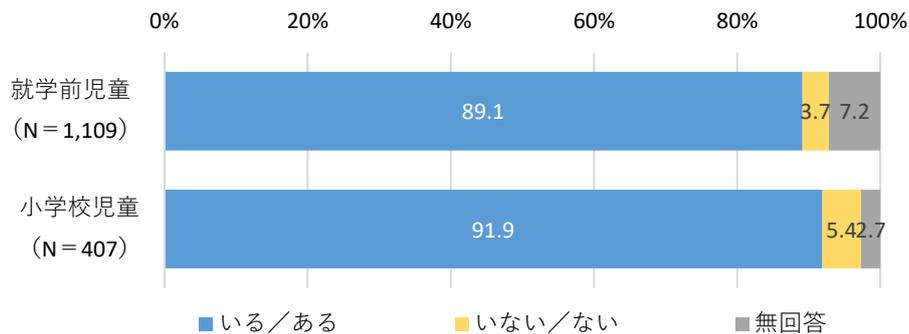
お子さまを見てもらっている状況_友人・知人



④お子さまの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や場所はありますか。(単数回答)

「いる／ある」の割合が就学前児童で89.1%、小学校児童で91.9%、「いない／ない」が就学前児童で3.7%、小学校児童で5.4%となっています。

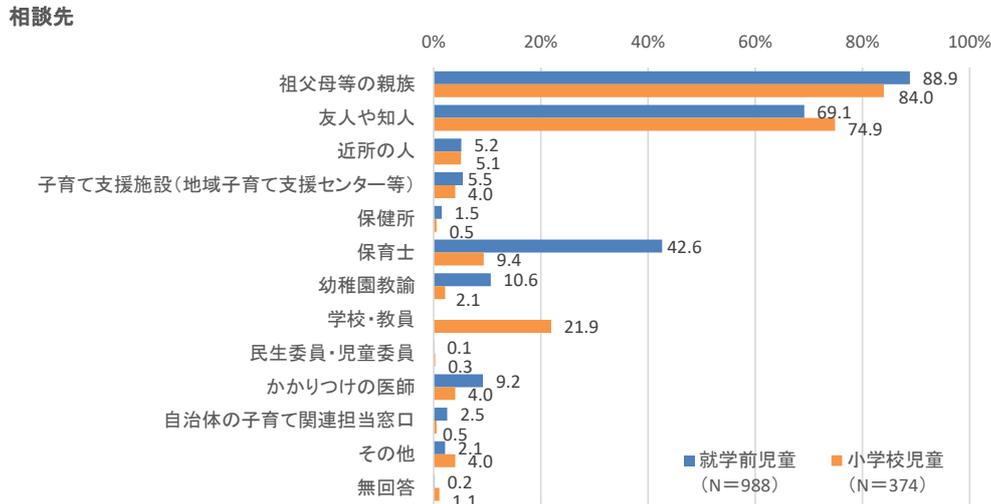
相談できる人や場所



④で「いる/ある」を選んだ方

④-1 お子さまの子育てに（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（複数回答）

就学前児童、小学校児童ともに「祖父母等の親族」の割合が最も高く、それぞれ88.9%、84.0%となっています。次いで「友人や知人」が就学前児童69.1%、小学校児童74.9%と他は以下のとおりとなっています。



⑤子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近は人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。【小学校児童のみ】

行事・イベント	大学などと共同してのワークショップや見学など、子どもの興味が広がるような催し 教育イベント、体験の機会
公園、施設・預かりサービスなど	土日・祝日、長期休暇中、振替休日の際にも放課後子ども教室の利用 親が体調不良等の際に一時的に預かってもらえる施設 病児保育施設など 短時間、子どもを預けられる託児所やヘルパーさん、自宅でのシッター制度 児童クラブ（学童）の時間帯を延ばす（朝7時～19時）、6年生までに 小学校の校区内（小学校内等）に土日祝日、無料開放の教室 高学年になっても放課後子どもを見守るサポート 長期休みに子どもが自由に行ける屋内の場所 公園を増やす
地域	近所のお年寄りとふれあえる場 登下校時の見守りや防犯巡回 地域での子どもへの声掛け、見守り
情報提供・相談	情報がすぐに入る 相談窓口自体の案内 保護者の困りごとや意見を広報に出す 育児経験者による心配事の相談 予防接種のお知らせシステム 子どもの発達困りごとをすぐ相談できる専門機関 気軽に相談できるサービス（電話、LINE、チャットなど） 発達段階に合わせた情報提供 日々の様子を簡単に伝えてもらえるアプリ等
教育支援など	習い事へのサポート、送迎含む 食事、入浴、宿題など、生活面のサポート 宿題など見てもらえる環境 子どもの栄養を考えた食事作りができるサポート（料理教室） 就学前児童にひらがななどの基本的なことを教えてくれる場所 子どものその時々での成長過程での勉強や親のかかわり方など必要なことを教えてほしい
経済面でのサポート	子育て給付金の増額 保育料の無償化 教育費の無償化 経済的援助
職場環境	会社の休みを取りやすい環境づくり 短時間就業等 保護者のリフレッシュ休暇がとりやすい雰囲気づくり

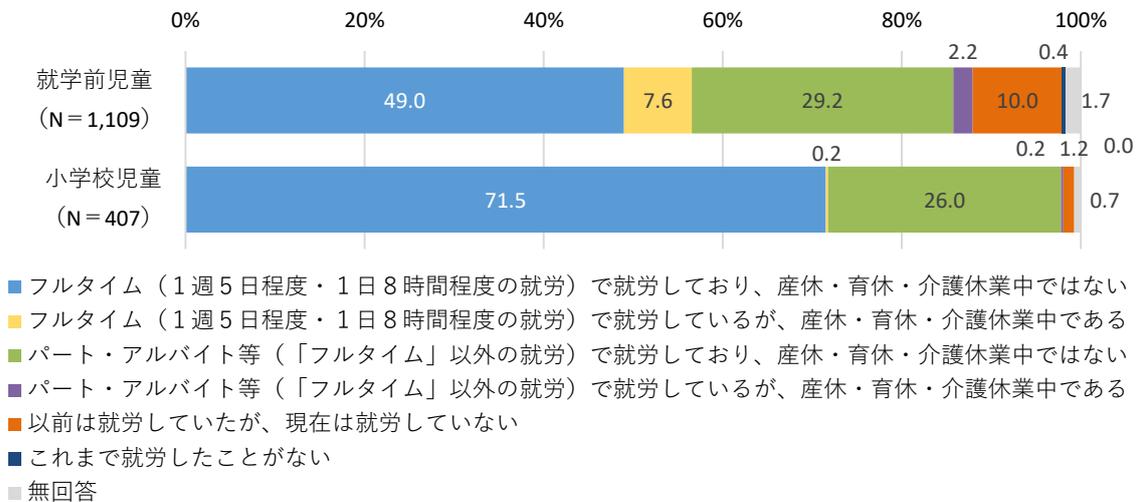
(4) 保護者の就労状況について

①お子さまの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（単数回答）

【①母親】（父子家庭の場合は記入不要です）

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が就学前児童で49.0%、小学校児童で71.5%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が就学前児童で29.2%、小学校児童で26.0%と他は以下のとおりとなっています。

母親の就労状況



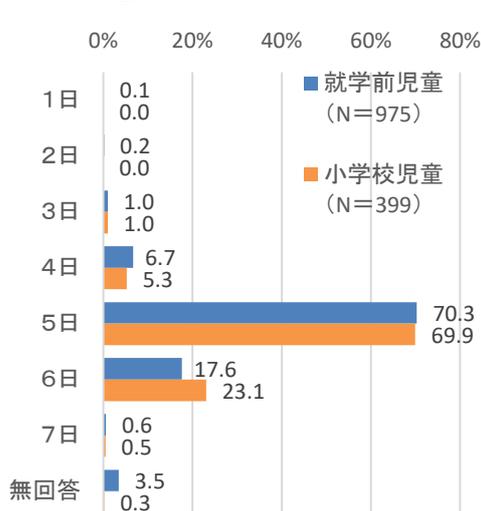
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

①で「就労している」を選んだ方

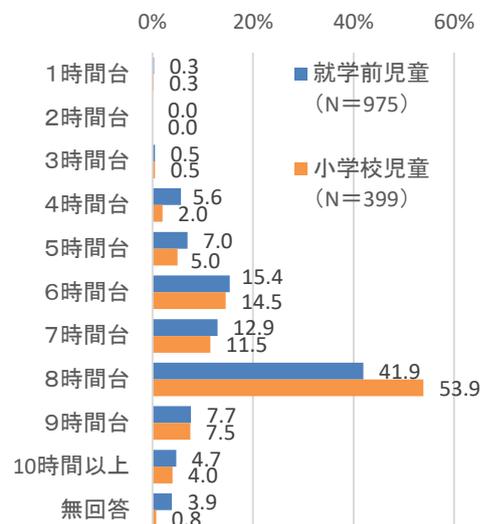
①-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間含む）」をお答えください。

就労日数は、「5日」の割合が就学前児童で70.3%、小学校児童で69.9%と最も高くなっています。就労時間は、「8時間台」が就学前児童で41.9%、小学校児童で53.9%と最も高くなっています。

就労日数_母親

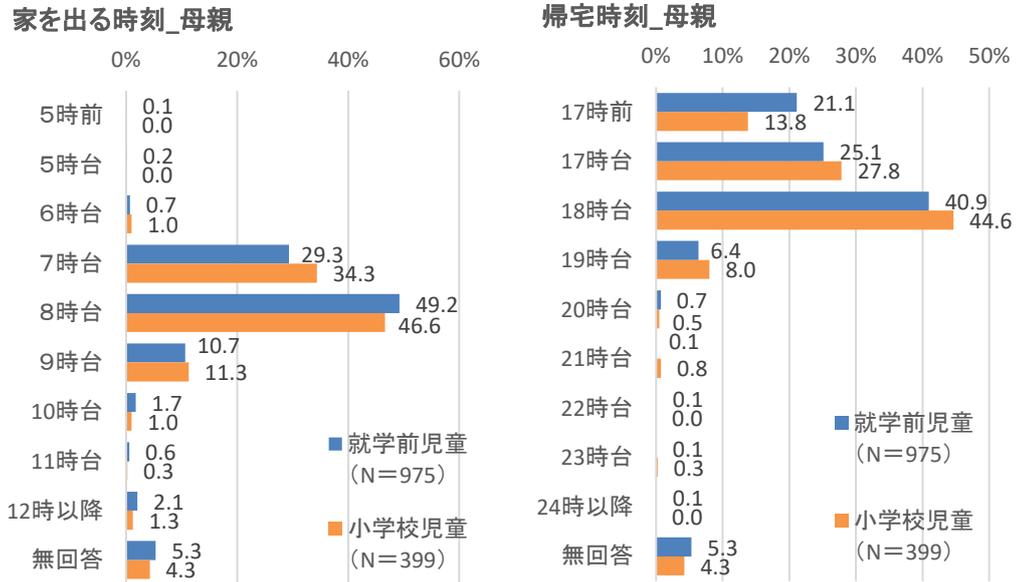


就労時間_母親



①-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

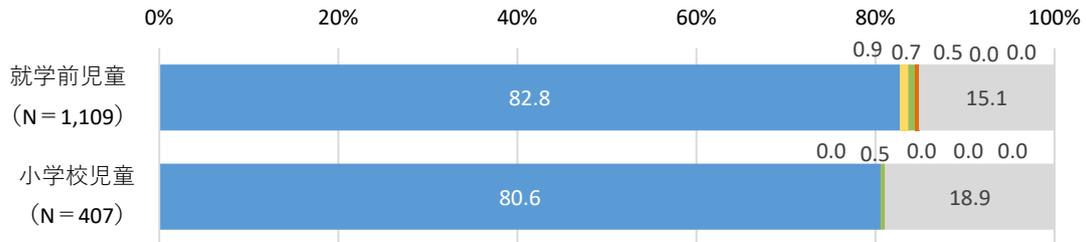
家を出る時刻は、「8時台」の割合が就学前児童で49.2%、小学校児童で46.6%と最も高く、帰宅時刻は、「18時台」が就学前児童で40.9%、小学校児童で44.6%と最も高くなっています。



【②父親】（母子家庭の場合は記入不要です）

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が就学前児童で82.8%、小学校児童で80.6%と最も高くなっています。

父親の就労状況



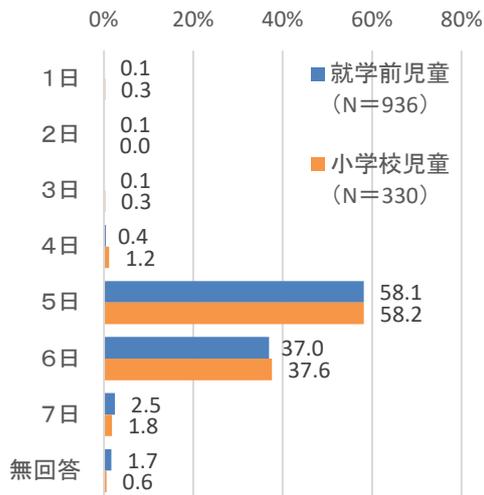
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

②で「就労している」を選んだ方

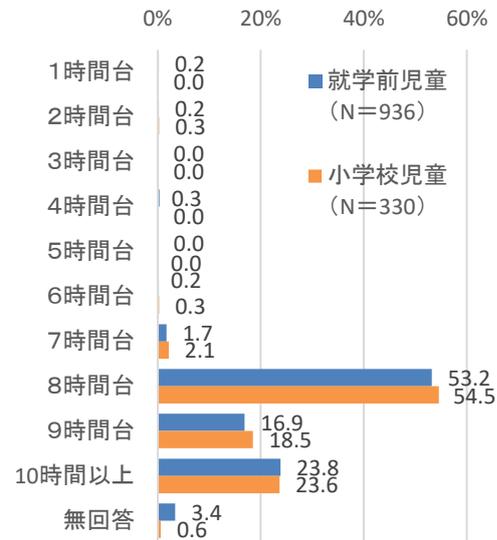
②-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間含む）」をお答えください。

就労日数は、「5日」の割合が就学前児童で58.1%、小学校児童で58.2%と最も高くなっています。就労時間は、「8時間台」が就学前児童で53.2%、小学校児童で54.5%と最も高くなっています。

就労日数_父親



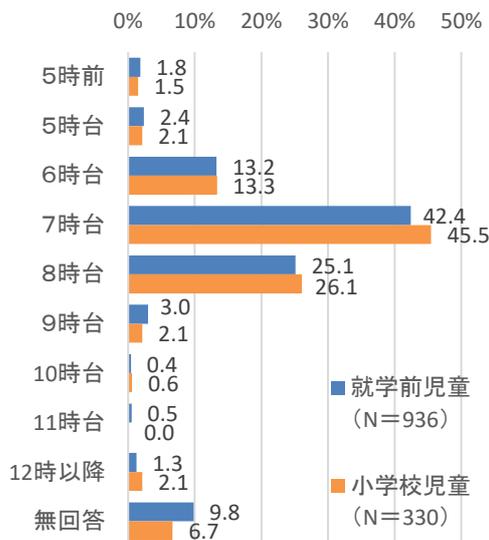
就労時間_父親



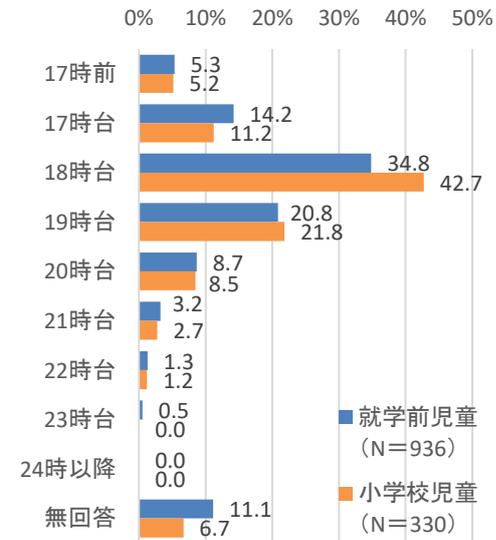
②-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

家を出る時刻は、「7時台」の割合が就学前児童で42.4%、小学校児童で45.5%と最も高く、帰宅時刻は、「18時台」が就学前児童で34.8%、小学校児童で42.7%と最も高くなっています。

家を出る時刻_父親



帰宅時刻_父親



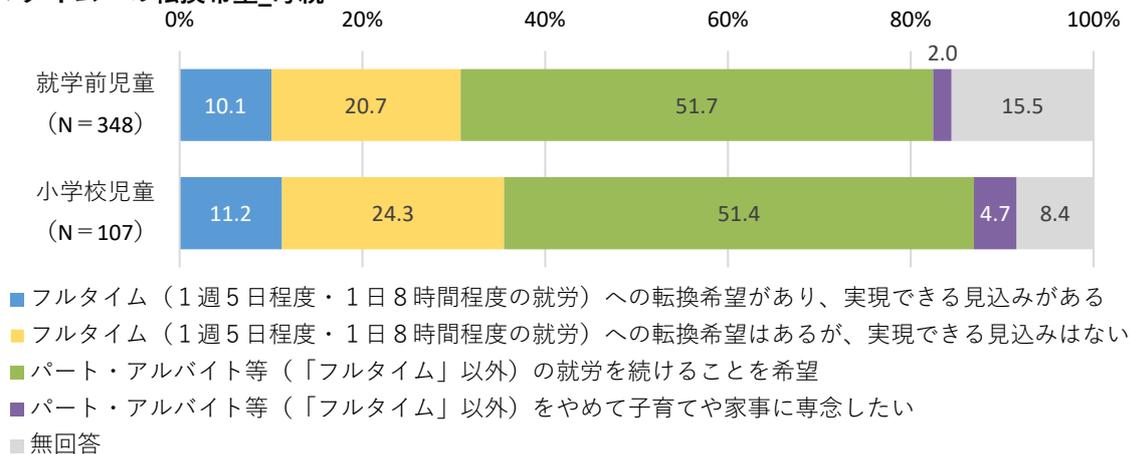
①で「パート・アルバイト等で就労している」を選んだ方

②フルタイムへの転換希望はありますか。(単数回答)

【①母親】

「パートタイム・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が就学前児童で51.7%、小学校児童で51.4%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が就学前児童で20.7%、小学校児童で24.3%と他は以下のとおりとなっています。

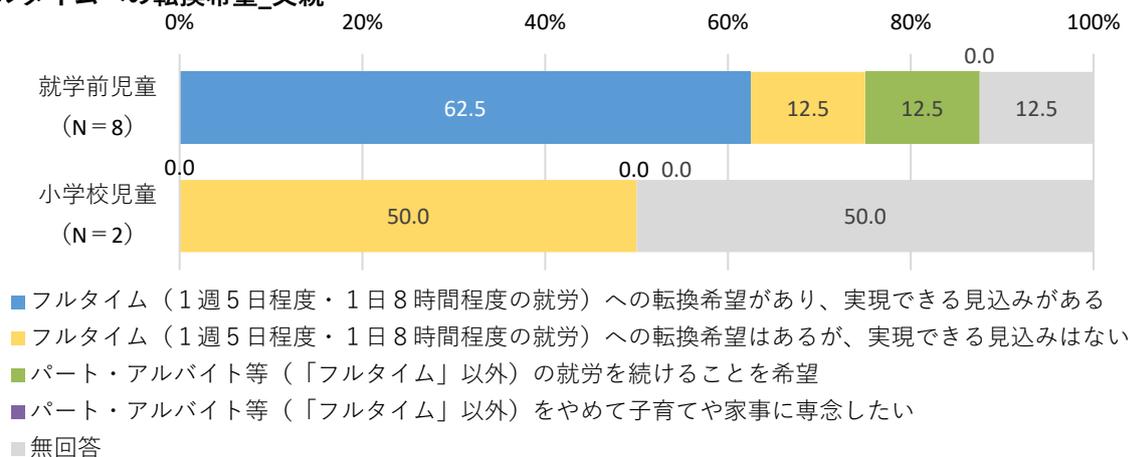
フルタイムへの転換希望_母親



【②父親】

就学前児童では「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が62.5%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が12.5%となっています。小学校児童では2名の該当者があり、以下のとおりとなっています。

フルタイムへの転換希望_父親



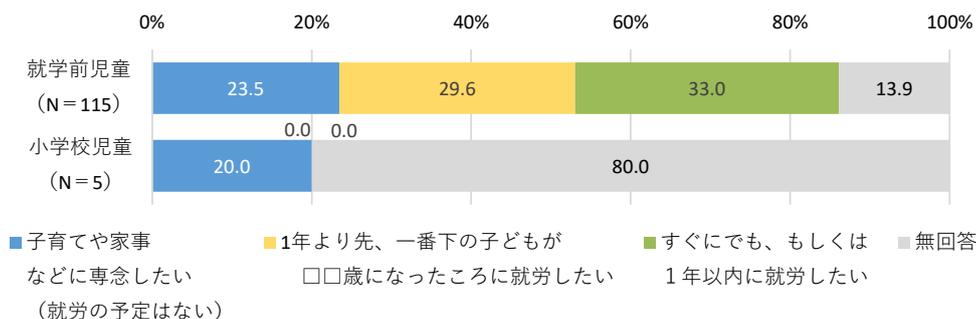
①で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまでに就労したことがない」を選んだ方

③就労したいという希望はありますか。(単数回答)

【①母親】

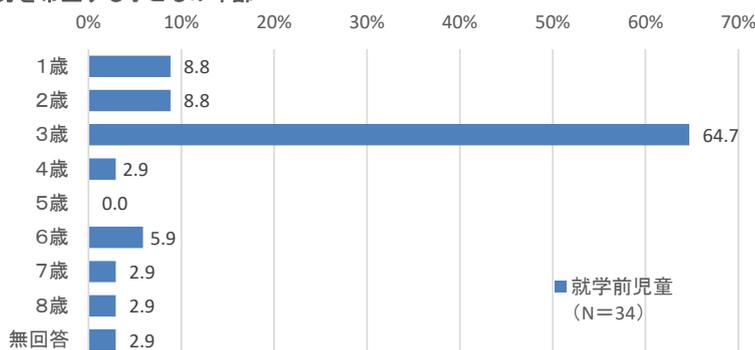
就学前児童では、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が33.0%と最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」が29.6%、「子育てや家事などに専念したい」23.5%となっています。小学校児童では「子育てや家事などに専念したい」が20.0%となっています。

就労したい希望_母親



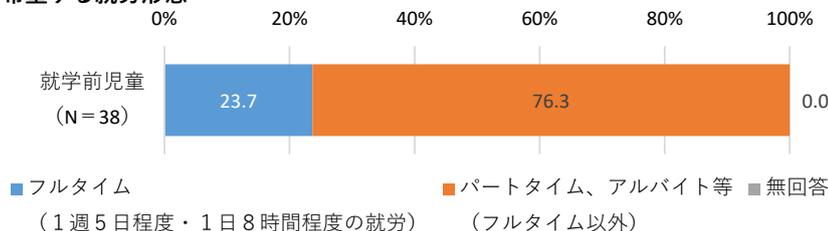
就労を希望する子どもの年齢は、就学前児童で「3歳」の割合が64.7%と最も高くなっています。

就労を希望する子どもの年齢

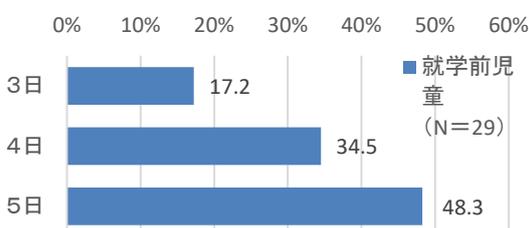


希望する就労形態は、就学前児童で「パートタイム、アルバイト等」の割合が76.3%と最も高くなっています。その希望就労日数と就労時間は以下のとおりとなっています。

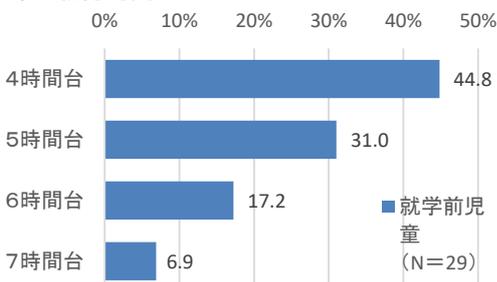
希望する就労形態



希望就労日数



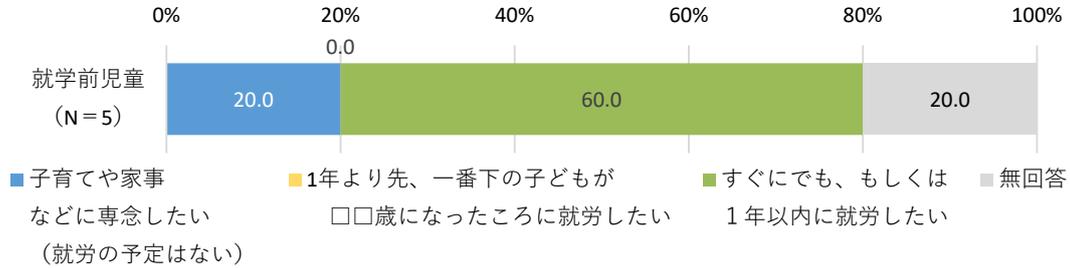
希望就労時間



【②父親】

就学前児童では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が60.0%と最も高くなっています。小学校児童は該当者はありませんでした。

就労したい希望_父親



希望する就労形態は「フルタイム」が100.0%でした。

希望する就労形態



(5) 平日に定期的にご利用している幼稚園や保育所、認定こども園などについて【就学前児童】

①お子さまは現在、幼稚園、認可保育所、認定こども園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(単数回答)

「利用している」の割合が91.2%、「利用していない」が8.1%となっています。

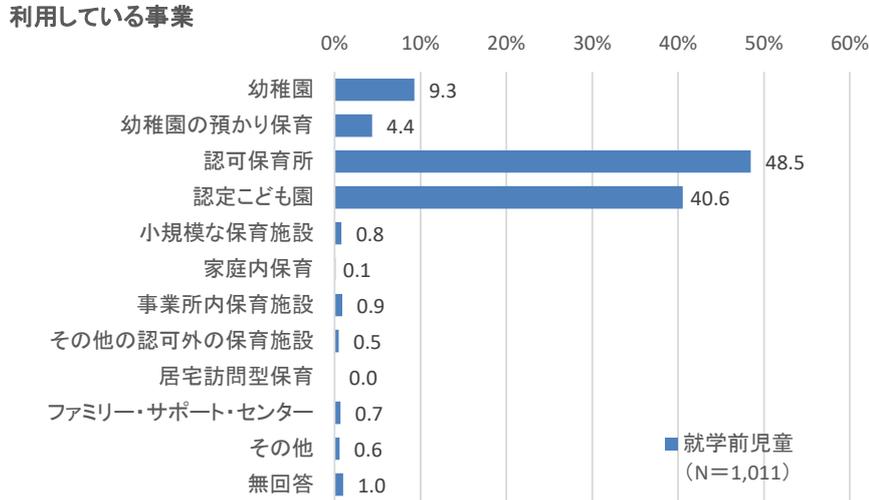
定期的な保育事業の利用



①で「利用している」を選んだ方

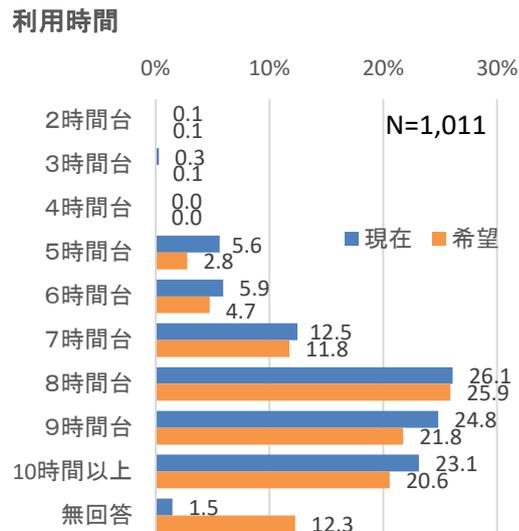
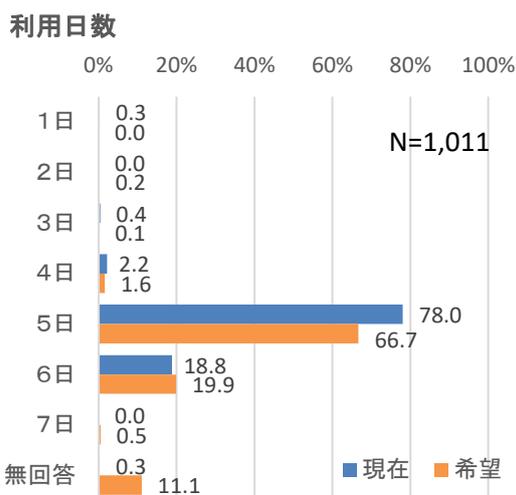
①-1 お子さまは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（複数回答）

「認可保育所」の割合が48.5%と最も高く、次いで「認定こども園」が40.6%と他は以下のとおりとなっています。

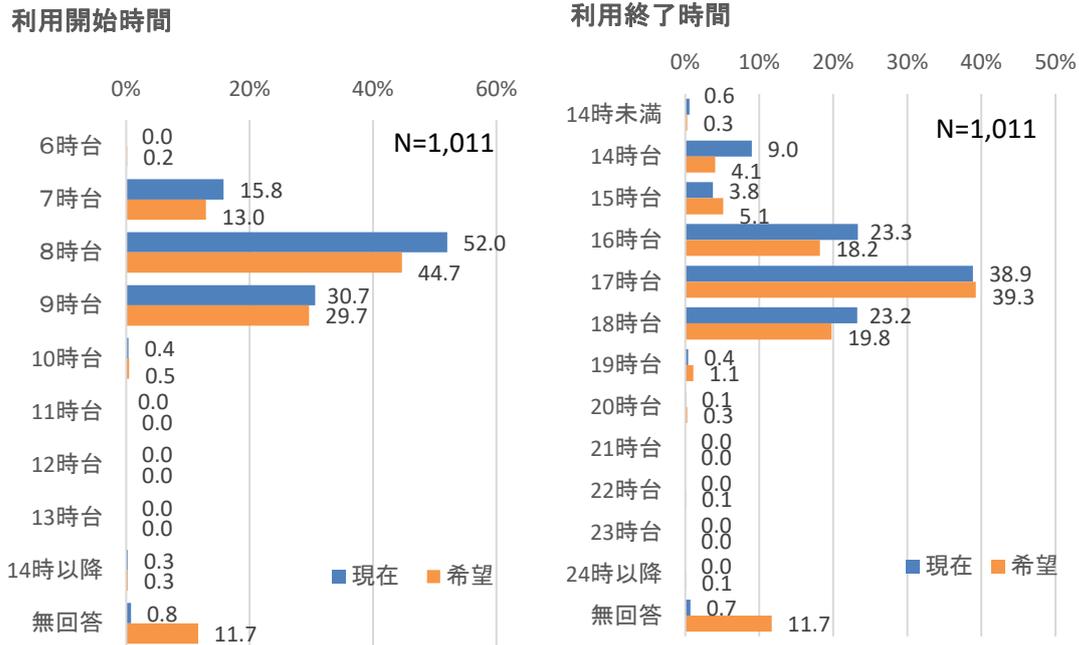


①-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業の現在の利用状況と希望をお書きください（数量回答）

1週あたりの利用日数では、現在、希望ともに「5日」の割合が最も高く、それぞれ78.0%、66.7%となっています。また、1日あたりの利用時間では、現在、希望ともに、「8時間台」が最も高く、それぞれ26.1%、25.9%と他は以下のとおりとなっています。

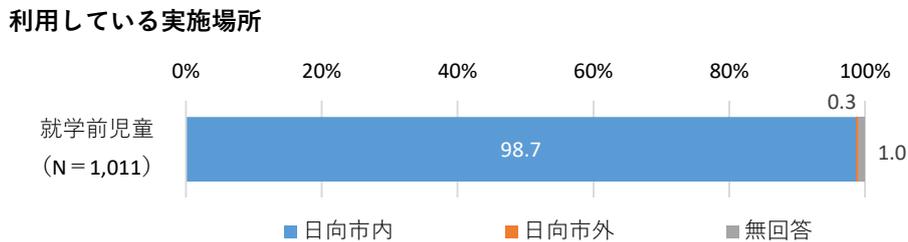


利用開始時間では、現在、希望ともに「8時台」が高い割合となっています。また、終了時間では、現在、希望ともに「17時台」が高い割合となっています。



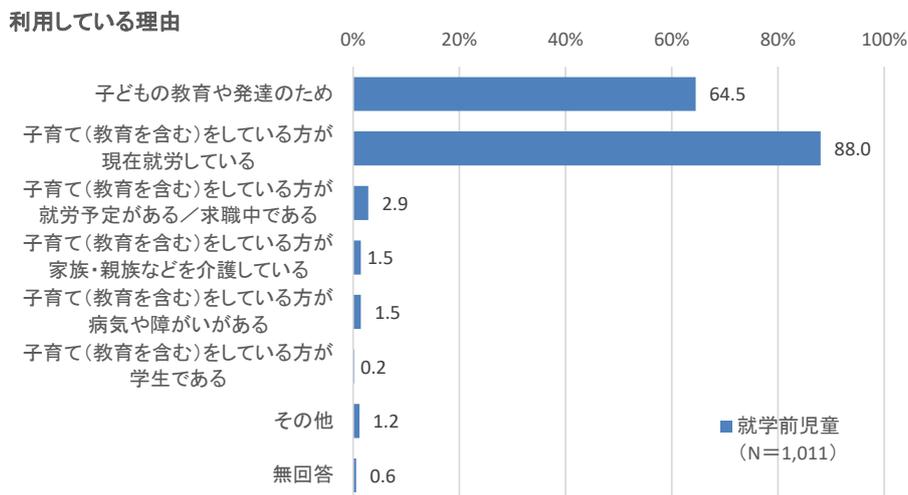
①-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所について (単数回答)

「日向市内」の割合が98.7%と最も高くなっています。



①-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由について、主な理由としてあてはまる番号すべてに○ (複数回答)

「子育てをしている方が現在就労している」の割合が最も高く88.0%、次いで「子どもの教育や発達のため」が64.5%と他は以下のとおりとなっています。

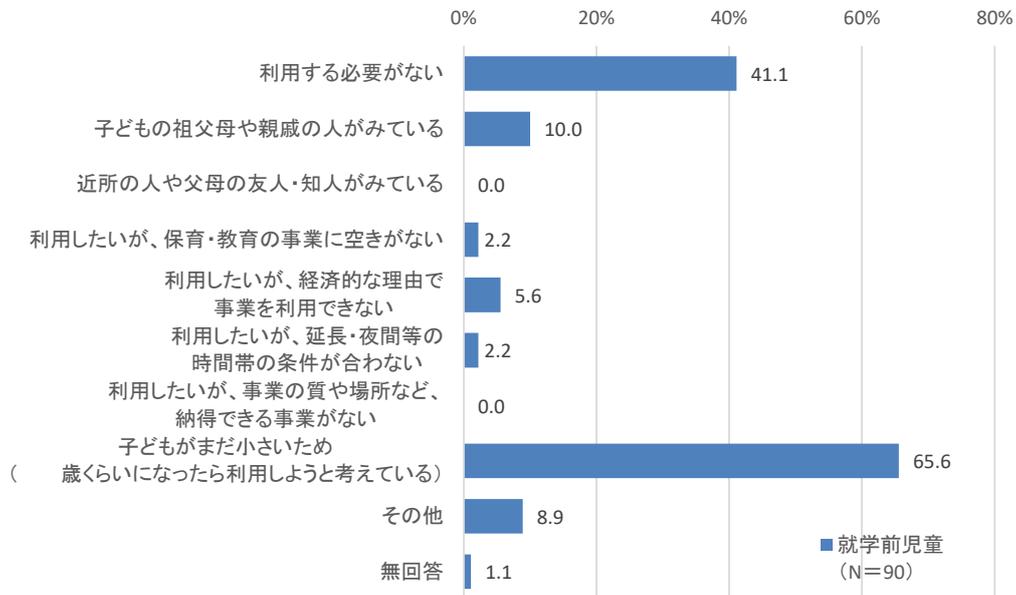


①で「利用していない」を選んだ方

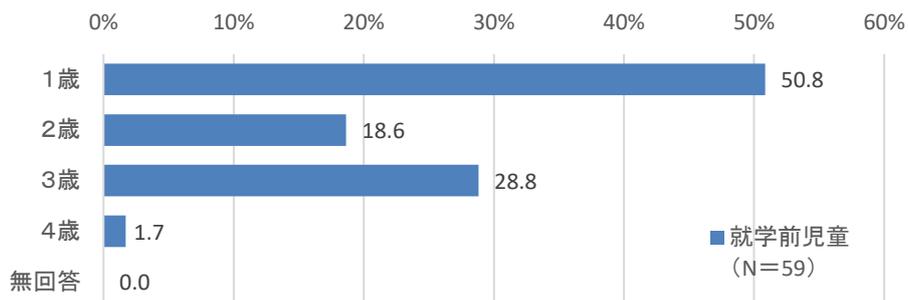
①-5 利用していない理由は何ですか。理由として最もあてはまる番号すべてに○（複数回答）

「子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）」の割合が 65.6%と最も高く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が 41.1%と他は以下のとおりとなっています。また、「子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）」人の利用希望年齢は、「1歳」が 50.8%と最も高くなっています。

利用していない理由



利用したい年齢



①で「利用していない」を選んだ方

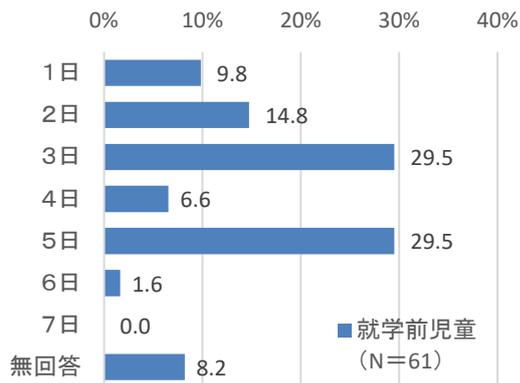
- ①-6 国が検討している「こども誰でも通園制度（仮称）」が創設された場合に、利用したいと思いますか。なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生する場合があります。

「利用したいと思う」の割合が67.8%、「利用したいとは思わない」が27.8%となっています。利用したい人の利用希望日数は1週当たり「3日」と「5日」が、1日当たりの利用希望時間は「4時間台」の割合が高くなっています。また、利用希望開始時間は「9時台」が、利用希望終了時間は「16時台」が高くなっています。

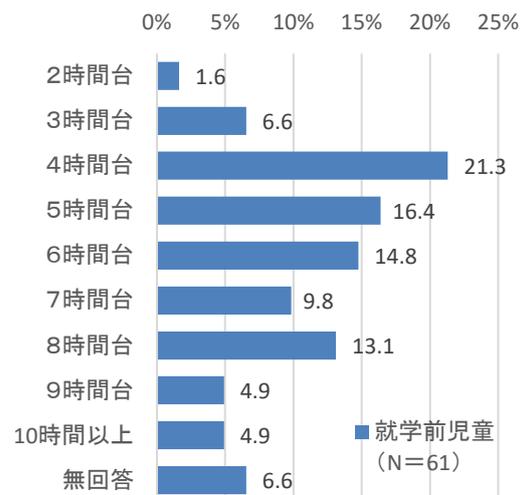
こども誰でも通園制度の利用



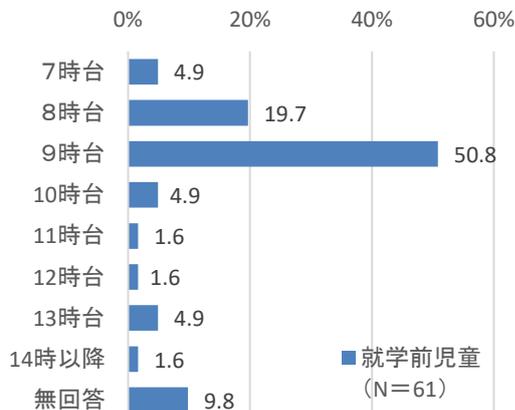
利用希望日数



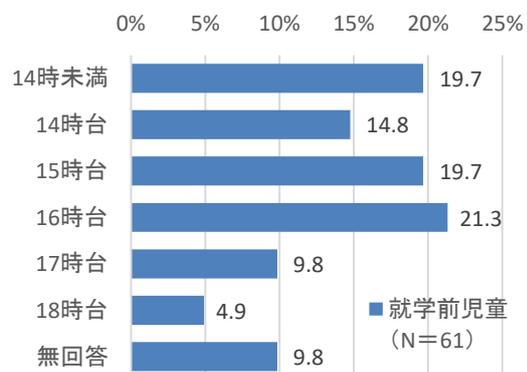
利用希望時間



利用希望開始時間



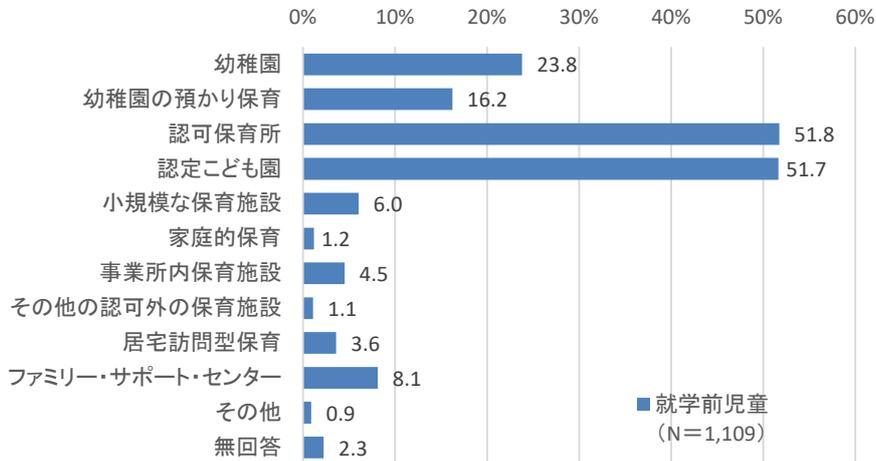
利用希望終了時間



②現在、利用や未利用を問わず、お子さまの平日の教育・保育の事業として「定期的」に利用したい事業をお答えください。(複数回答)

「認可保育所」の割合が51.8%、「認定こども園」が51.7%と高く、「幼稚園」23.8%、「幼稚園の預かり保育」16.2%と他は以下のとおりとなっています。

定期的にご利用したい事業



②-1 教育・保育事業を利用したい場所についていずれかに○ (単数回答)

「日向市内」の割合が97.9%、「日向市外」0.7%となっています。

利用したい場所

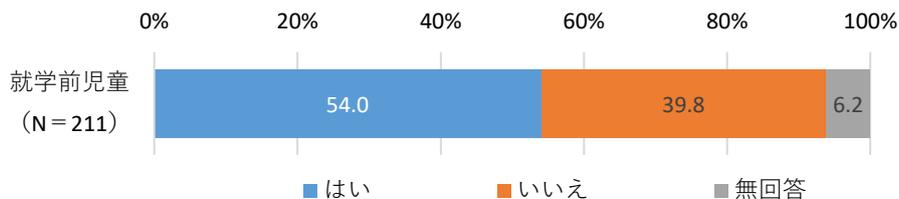


②で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」を選び、他の事業の利用希望も選んだ方

②-2 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。(単数回答)

「はい」の割合が54.0%、「いいえ」39.8%となっています。

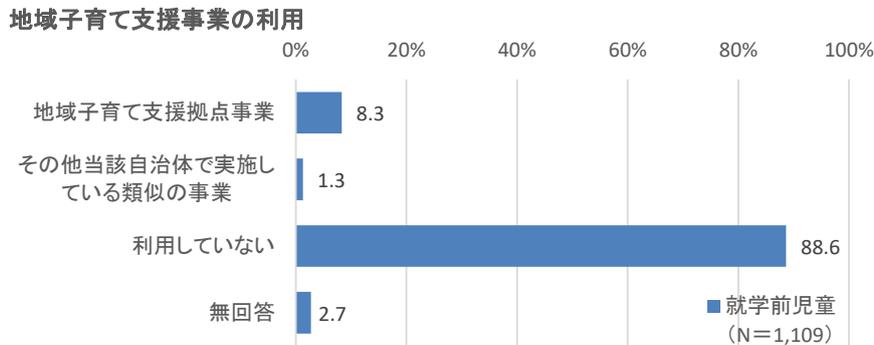
幼稚園の利用を強く希望



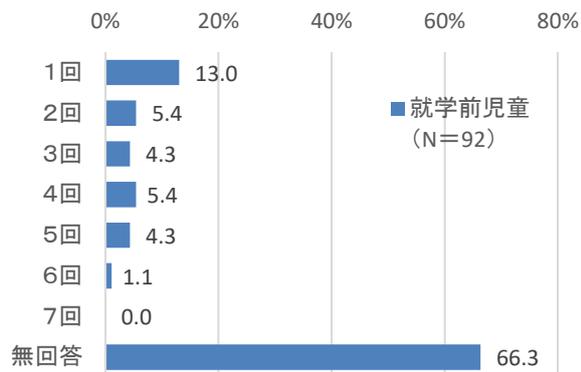
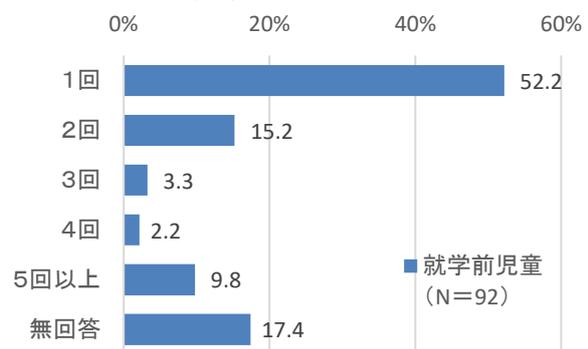
(6) 地域子育て支援事業の利用状況について【就学前児童】

- ①お子さまは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」など）について、利用していますか。（複数回答）

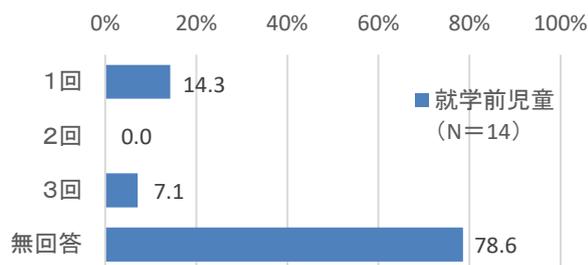
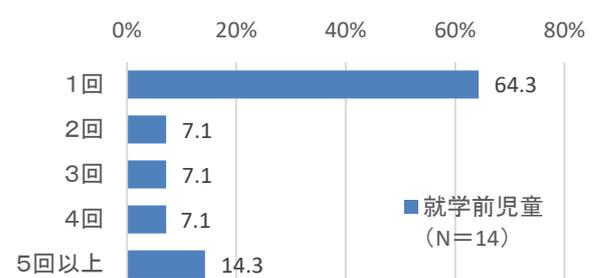
「利用していない」割合が88.6%と最も高くなっています。



また、「地域子育て支援拠点事業」を利用している人の利用回数では、1週当たり「1回」、もしくは1か月当たり「1回」の割合が高くなっています。

1週当たり利用回数**1か月当たり利用回数**

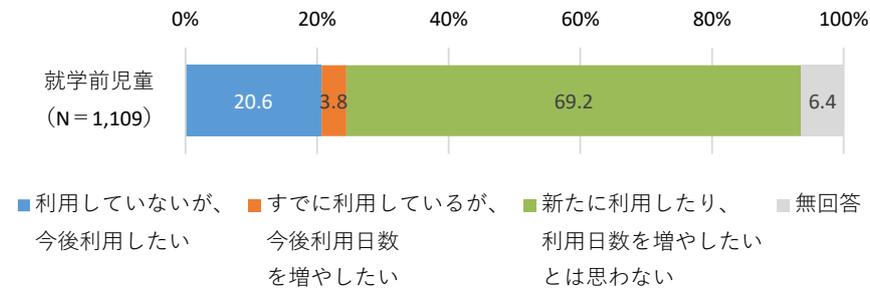
「その他当該自治体で実施している類似の事業」の利用回数は、1週当たり「1回」、もしくは1か月あたり「1回」の割合が高くなっています。

1週当たり利用回数**1か月当たり利用回数**

② ①のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいですか。(単数回答)

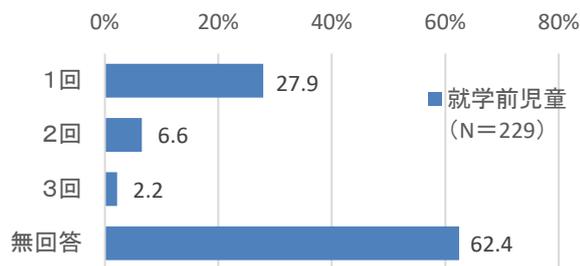
「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 69.2%、「利用していないが、今後利用したい」が 20.6%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」3.8%となっています。

今後の利用意向

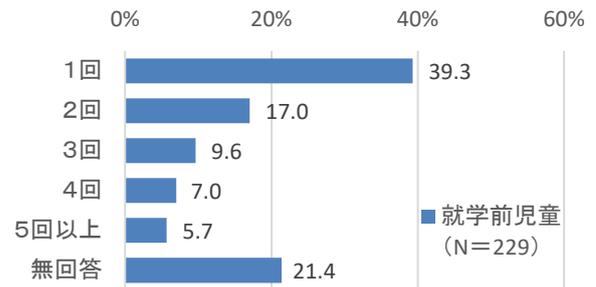


また、利用希望回数は、「利用していないが、今後利用したい」人では1週あたり「1回」、もしくは1か月あたり「1回」の割合が高くなっています。

1週当たり利用回数

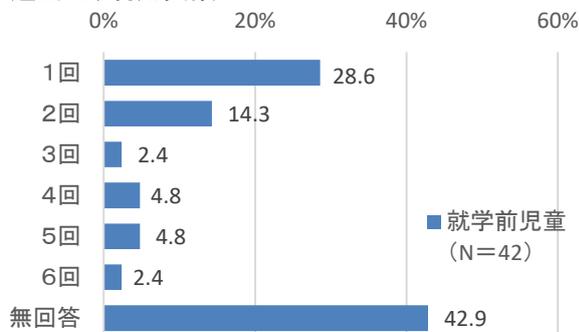


1か月当たり利用回数

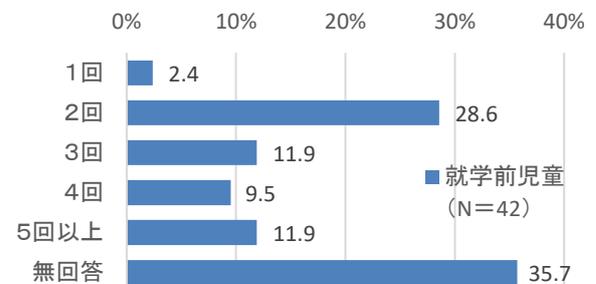


「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人では1週あたり「1回」、もしくは1ヶ月あたり「2回」の割合が高くなっています。

1週当たり利用回数



1か月当たり利用回数

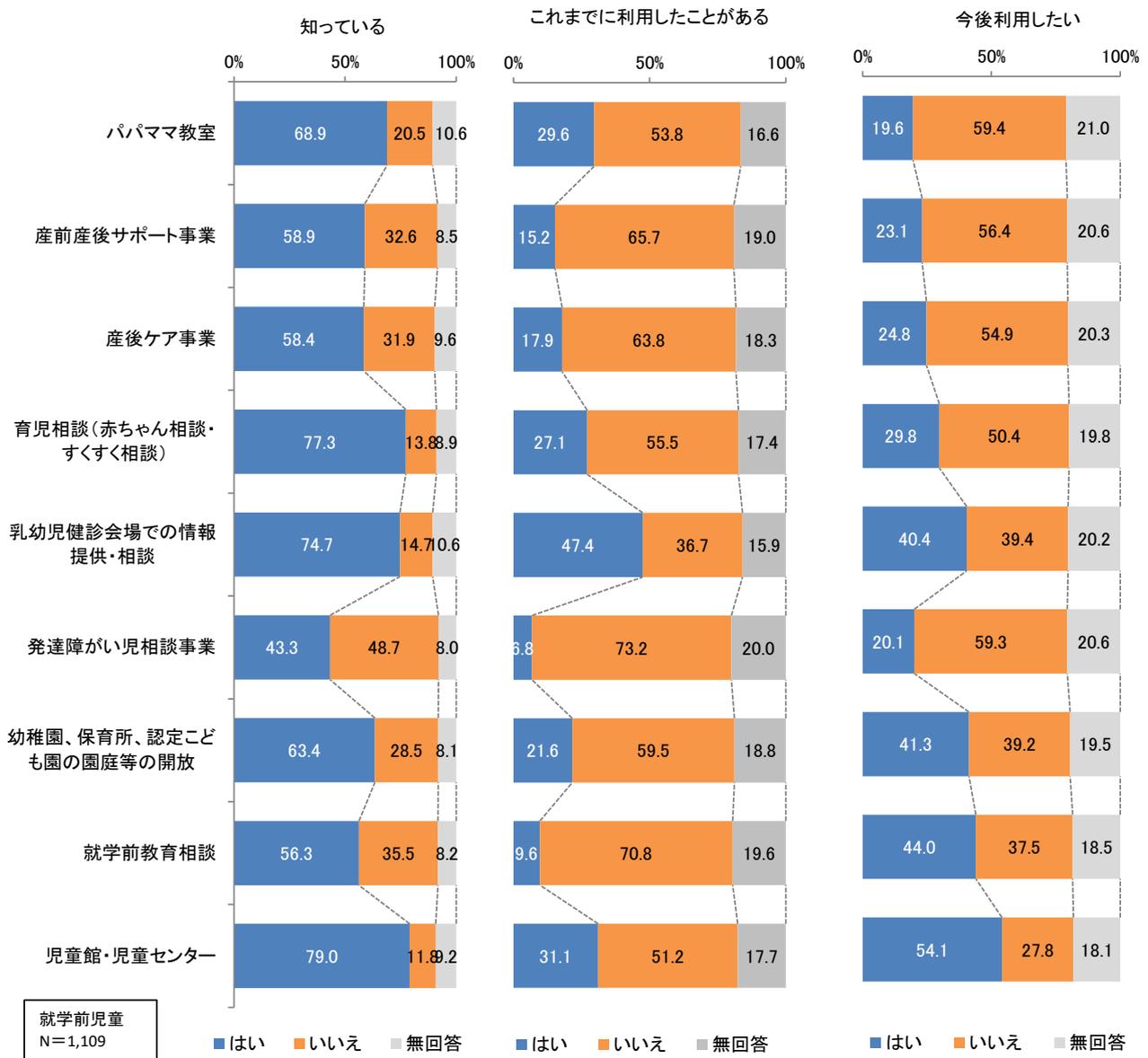


③下記の事業で知っているものや、利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものを、事業ごとに、「はい」「いいえ」のいずれかに○（単数回答）

日向市の子育て支援事業の認知度、利用度、今後の利用希望についてみると、「知っている」割合が高いのは、『児童館・児童センター』79.0%、『育児相談』77.3%、『乳幼児健診会場での情報提供・相談』74.7%などでした。

「これまでに利用したことがある」割合が高いのは、『乳幼児健診会場での情報提供・相談』47.4%、『児童館・児童センター』31.1%などでした。

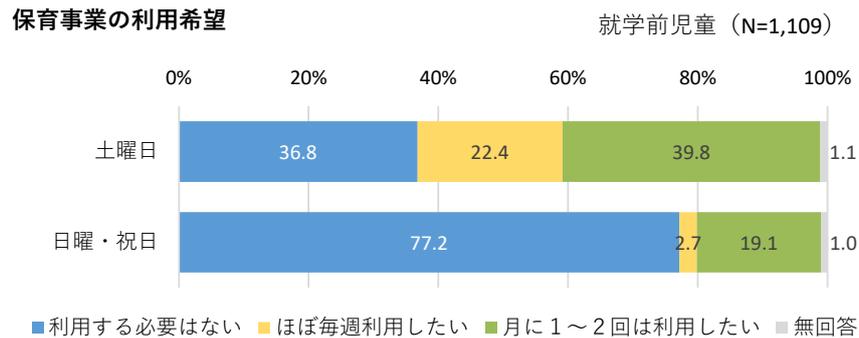
また「今後利用したい」割合が高いのは、『児童館・児童センター』54.1%、『就学前教育相談』44.0%、『幼稚園、保育所、認定こども園の園庭等の開放』41.3%などでした。



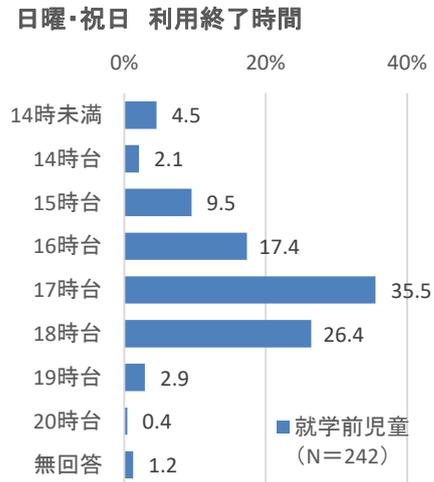
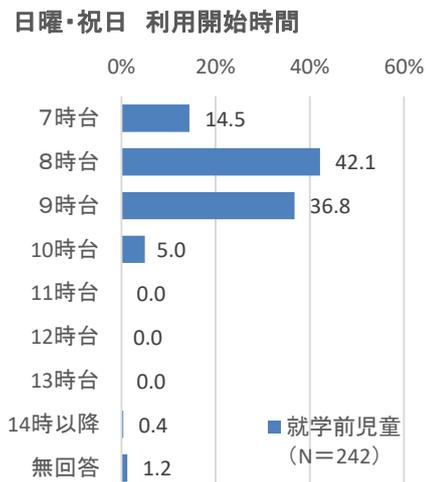
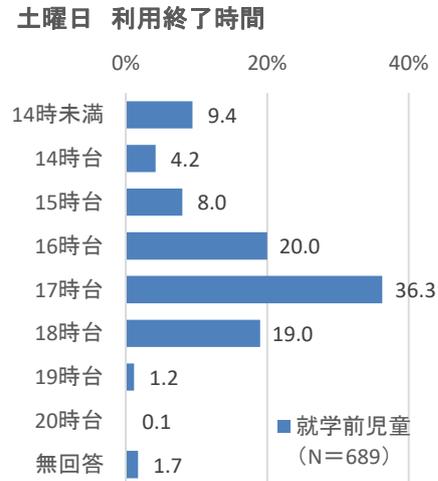
(7) お子さまの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について【就学前児童】

①土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望について（一時的な利用は除く）。希望の場合は、09時～18時のように24時間制で記入。（単数回答）

土曜日では、「月に1～2回利用したい」の割合が39.8%、「利用する必要はない」36.8%、「ほぼ毎週利用したい」22.4%となっています。日曜・祝日では「利用する必要はない」が77.2%と最も高くなっています。



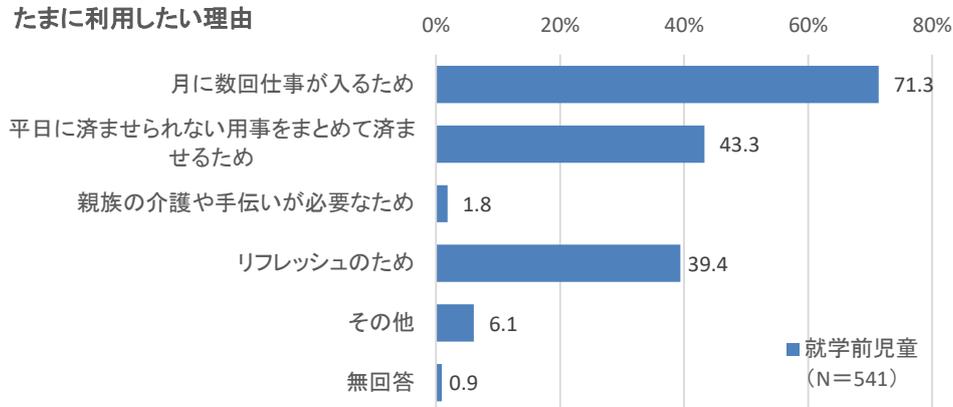
また、希望する利用時間帯については、開始時間では土曜日、日曜日・祝日ともに「8時台」の割合が最も高くなっています。終了時間では、土曜日、日曜日・祝日ともに「17時台」が最も高くなっています。



①で「月に1～2回は利用したい」を選んだ方

①-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(複数回答)

「月に数回仕事が入るため」の割合が71.3%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」43.3%と他は以下のとおりとなっています。

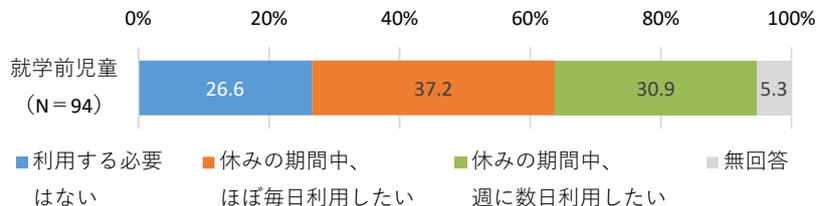


幼稚園をご利用の方へ

②夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。(単数回答)

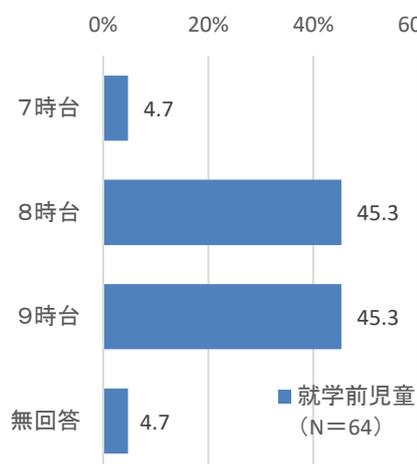
「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が最も高く37.2%、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」30.9%、「利用する必要はない」26.6%となっています。

保育事業の利用希望

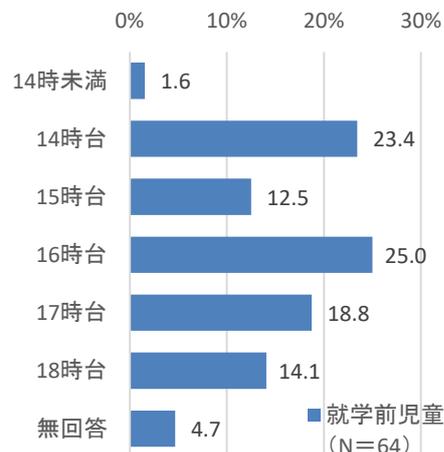


また、利用したい人の希望利用時間は、開始時間が「8時台」と「9時台」、終了時間が「16時台」の割合が高くなっています。

利用開始時間



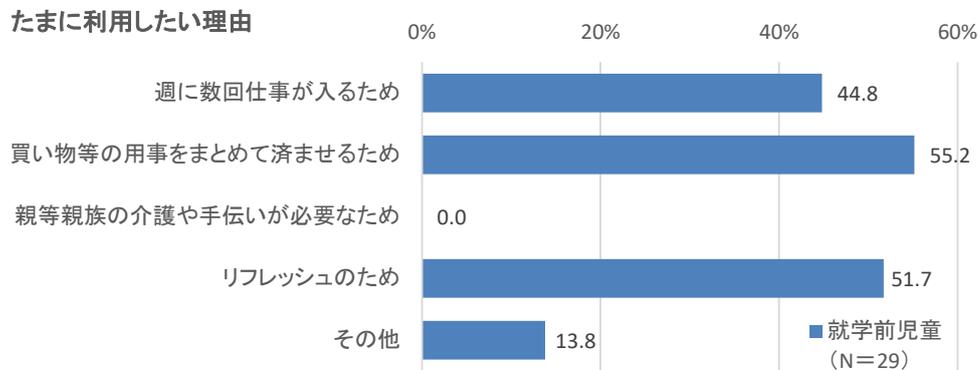
利用終了時間



②で「週に数日利用したい」を選んだ方

②-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。(複数回答)

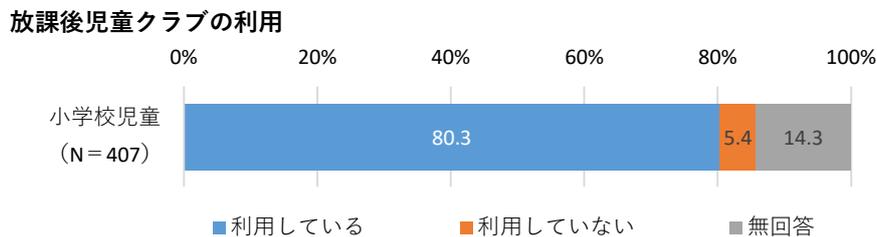
「買い物等の用事をまとめて済ませるため」の割合が55.2%と最も高く、次いで「リフレッシュのため」51.7%、「週に数回仕事が入るため」44.8%と他は以下のとおりとなっています。



(8) 放課後児童クラブの利用について【小学校児童】

①お子さまは現在、放課後児童クラブを利用していますか。(単数回答)

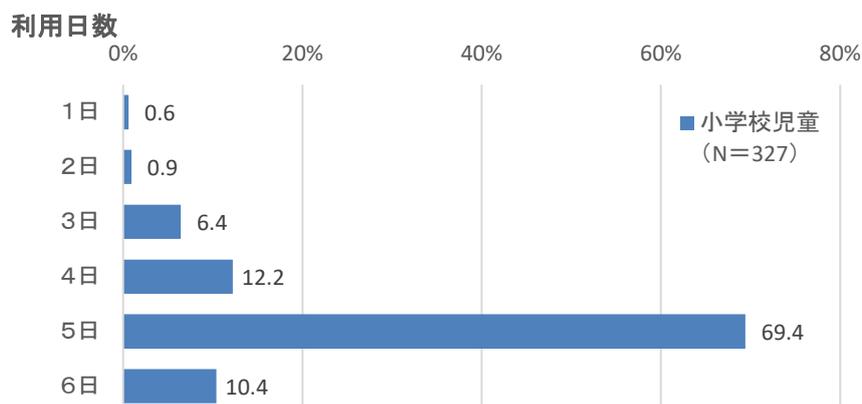
「利用している」割合が80.3%、「利用していない」5.4%となっています。



①で放課後児童クラブを「利用している」方

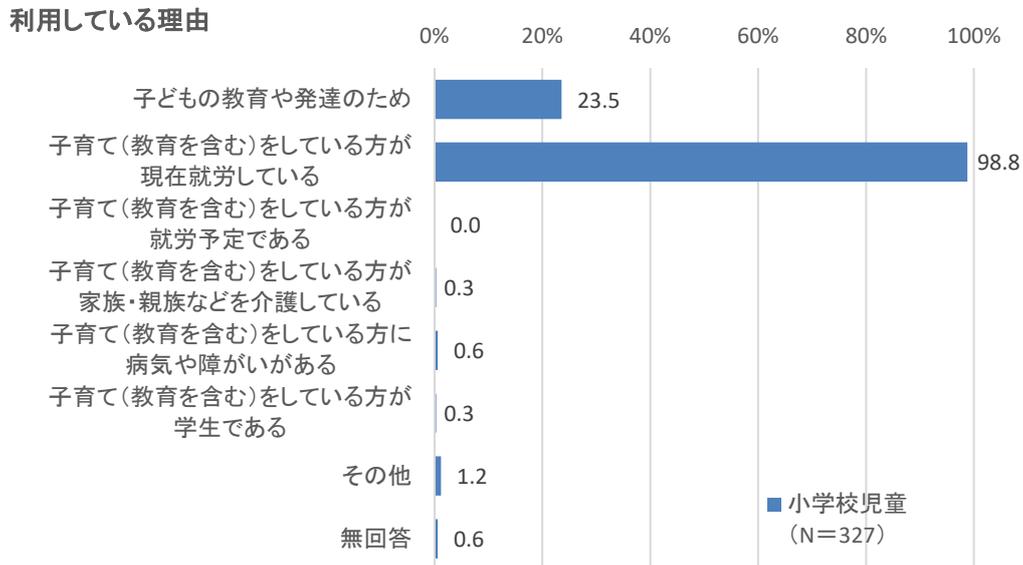
①-1 放課後児童クラブを利用しているお子さまについて、放課後児童クラブの利用日数はどれくらいですか。(数量回答)

1週当たり「5日」の割合が69.4%と最も高くなっています。



①-2 放課後児童クラブを利用している主な理由としてあてはまるもの（複数回答）

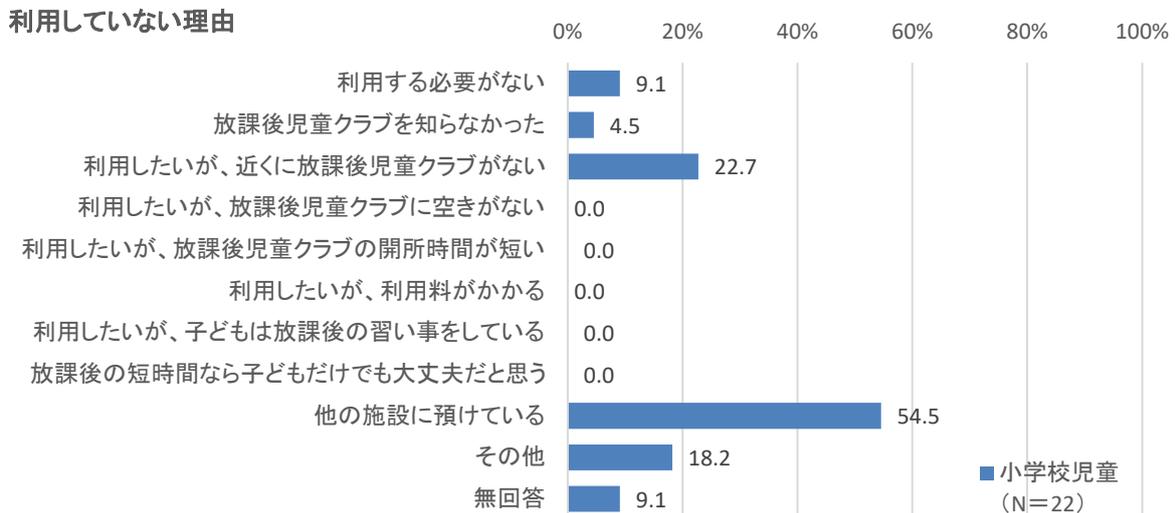
「子育てをしている人が現在就労している」割合が98.8%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」23.5%と他は以下のとおりとなっています。



①で放課後児童クラブを「利用していない」方

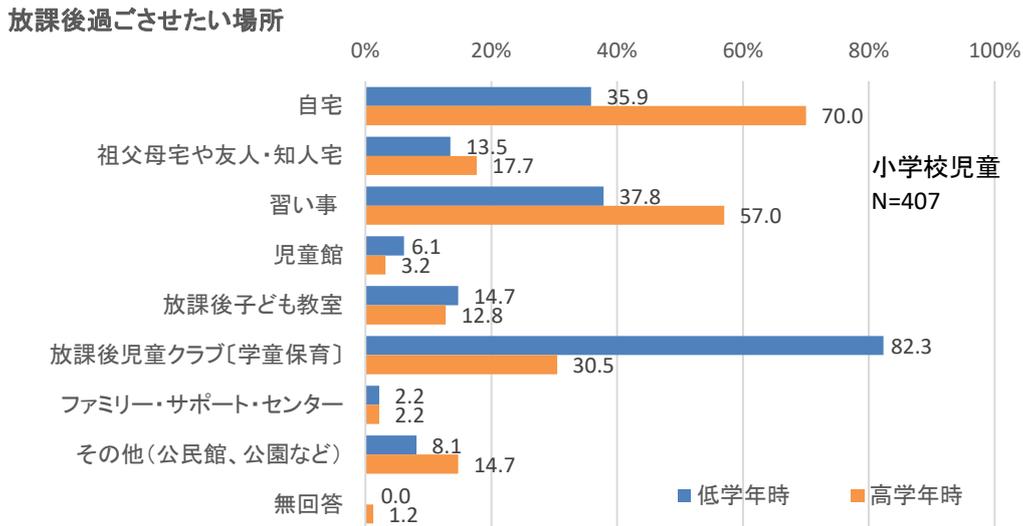
①-3 利用していない理由は何ですか。（複数回答）

「他の施設に預けている」割合が54.5%と最も高く、次いで「利用したいが、近くに放課後児童クラブがない」22.7%と他は以下のとおりとなっています。



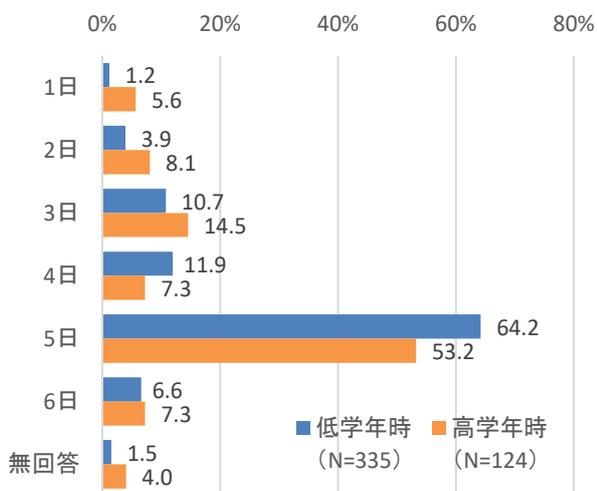
②お子さまについて、小学校低学年（1～3年生）と小学校高学年（4～6年生）について、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（複数回答）

低学年時では「放課後児童クラブ」の割合が最も高く 82.3%、高学年時では「自宅」の割合が最も高く 70.0%となっています。次いで低学年時では「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」37.8%、「自宅」35.9%、高学年時では「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」57.0%と他は以下のとおりとなっています。

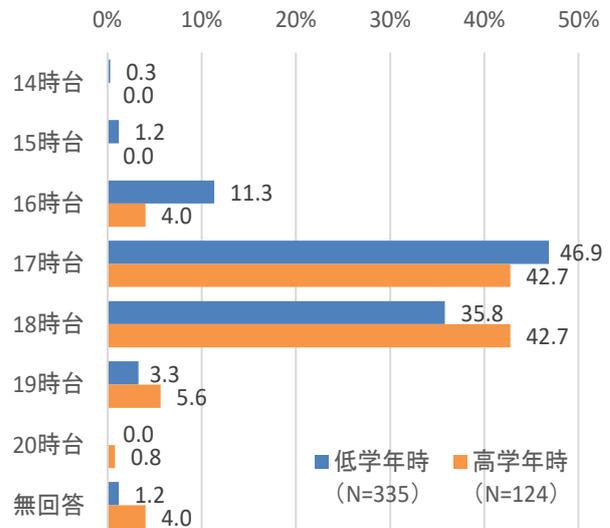


「放課後児童クラブ」で過ごさせたい方の利用希望日数は、低学年時、高学年時ともに「5日」の割合が、また利用希望終了時間は低学年時、高学年時ともに下校時から「17時台」と「18時台」が高くなっています。

放課後児童クラブ利用希望日数



放課後児童クラブ利用希望終了時間

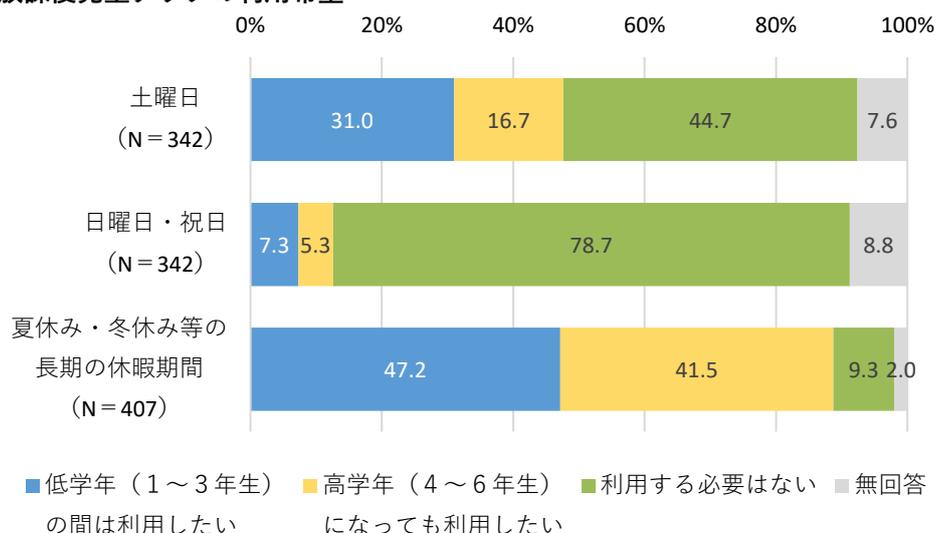


②で放課後児童クラブを選んだ方の土曜日や日曜日の利用希望。また、すべての方に長期の休暇期間の利用希望

③土曜日や日曜日・祝日、夏休み・冬休み等の長期の休暇期間の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(単数回答)

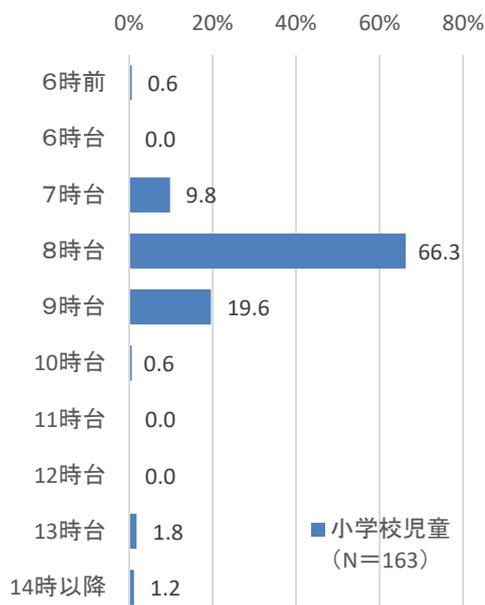
土曜日では、「利用する必要はない」の割合が 44.7%、「低学年の間は利用したい」31.0%、「高学年になっても利用したい」16.7%となっています。日曜日・祝日では、「利用する必要はない」が最も高くなっています。また夏休み・冬休み等の長期の休暇期間では、「低学年の間は利用したい」47.2%、「高学年になっても利用したい」41.5%、「利用する必要はない」9.3%となっています。

放課後児童クラブの利用希望

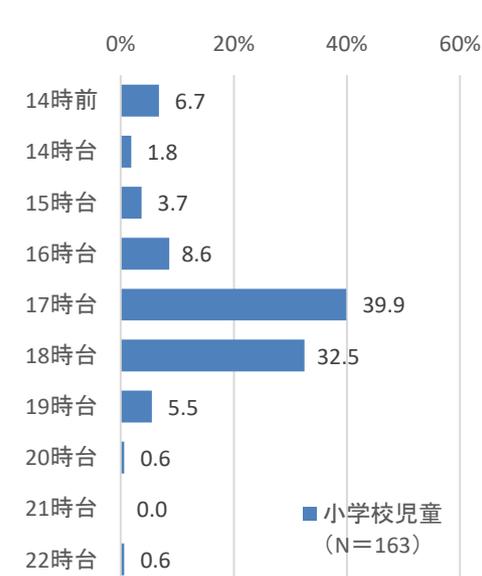


希望する利用時間帯については、土曜日では開始時間では「8時台」、終了時間では「17時台」の割合が高くなっています。

土曜日 利用開始時間

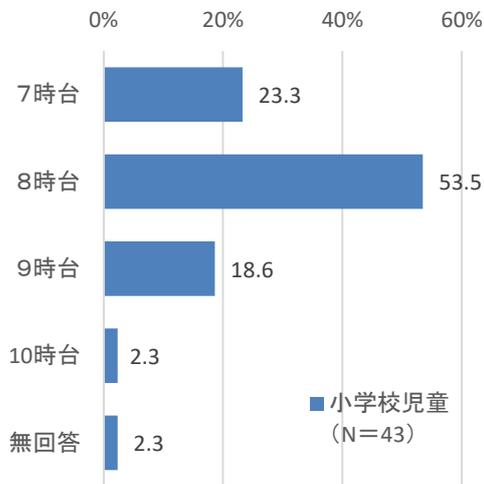


土曜日 利用終了時間

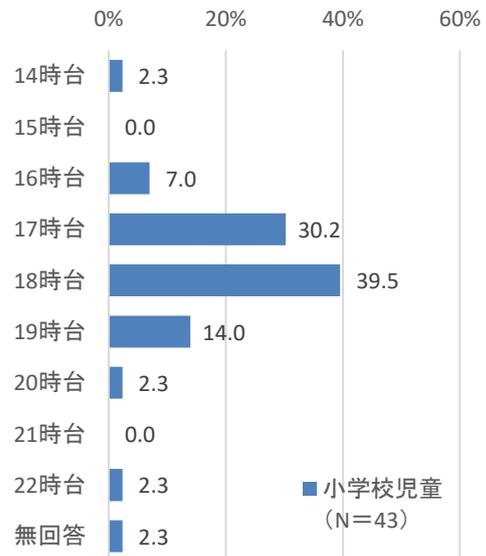


日曜・祝日では開始時間では「8時台」、終了時間では「18時台」の割合が高くなっています。

日曜・祝日 利用開始時間



日曜・祝日 利用終了時間

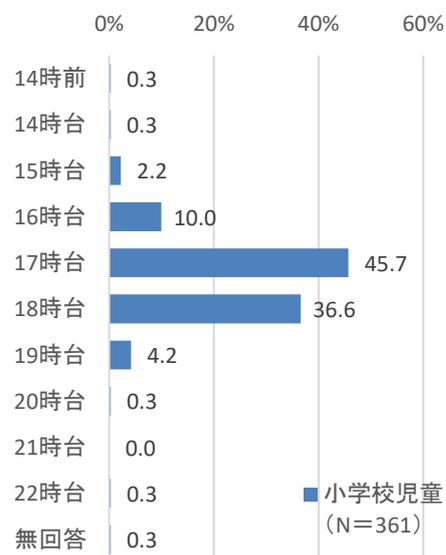


長期休暇期間中では開始時間では「8時台」、終了時間では「17時台」の割合が高くなっています。

長期休暇期間中 利用開始時間



長期休暇期間中 利用終了時間



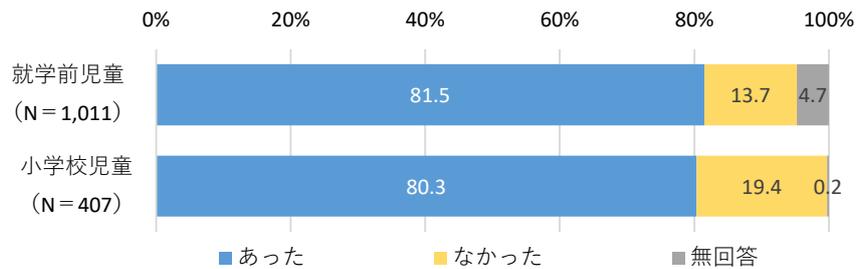
(9) お子さまの病気の際の対応について

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（就学前児童）小学校児童はすべての方

- ①この1年間に、お子さまが病気やケガで通常の事業が利用できなかった（小学生は学校を休まなければならなかった）ことはありますか。（単数回答）

「あった」の割合が就学前児童で81.5%、小学校児童で80.3%となっています。

子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと

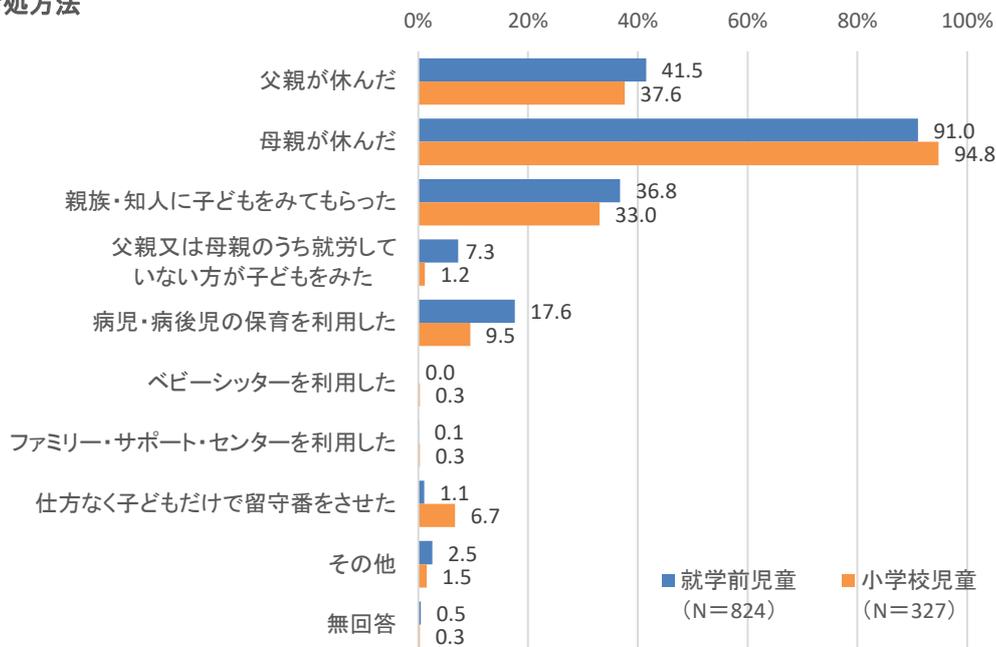


①で「あった」を選んだ方

- ①-1 お子さまが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった（小学生は学校を休まなければならなかった）場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまるもの。（複数回答）

「母親が休んだ」割合が就学前児童で91.0%、小学校児童で94.8%とそれぞれ最も高く、次いで、「父親が休んだ」が就学前児童で41.5%、小学校児童で37.6%と他は以下のとおりとなっています。

対処方法



日向市子ども・子育て支援に関するニーズ調査集計報告書

また、子どもが病気やケガの際に対処したそれぞれの対応日数については、以下の表のとおりとなっています。

◎子どもが病気やケガの際の各対応日数（数量回答）

【就学前児童】 対応日数	父親が休んだ (N=342)	母親が休んだ (N=750)	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった (N=303)	父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた (N=60)	病児・病後児の保育施設を利用した (N=145)	ベビーシッターを利用した (N=0)	ファミリー・サポート・センターを利用した (N=1)	仕方なく子どもだけで留守番をさせた (N=9)	その他 (N=21)
	%	%	%	%	%	%	%	%	%
1～3日	43.9	15.5	36.0	13.3	32.4		100.0	66.7	14.3
4～6日	24.6	16.8	24.4	16.7	18.6		0.0	22.2	19.0
7～14日	19.6	31.2	25.7	26.7	25.5		0.0	11.1	38.1
15～21日	2.9	17.9	5.0	13.3	10.3		0.0	0.0	14.3
22～28日	0.3	1.3	0.3	1.7	0.7		0.0	0.0	0.0
29～35日	1.2	5.9	1.7	6.7	2.1		0.0	0.0	0.0
36～42日	0.3	1.1	0.3	3.3	0.0		0.0	0.0	0.0
43～49日	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0
50～56日	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0
57日以上	0.3	0.9	0.0	1.7	0.0		0.0	0.0	0.0
無回答	7.0	8.7	6.6	16.7	10.3		0.0	0.0	14.3

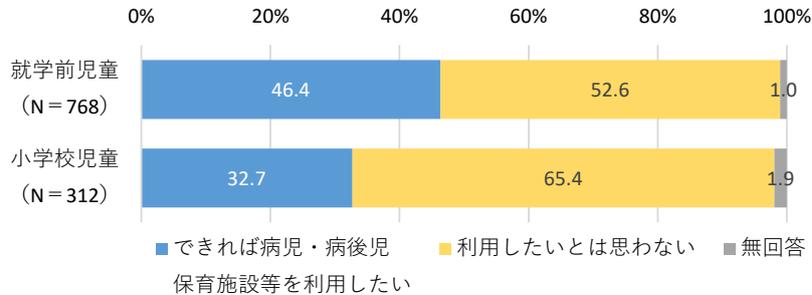
【小学校児童】 対応日数	父親が休んだ (N=123)	母親が休んだ (N=310)	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった (N=108)	父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた (N=4)	病児・病後児の保育施設を利用した (N=31)	ベビーシッターを利用した (N=1)	ファミリー・サポート・センターを利用した (N=1)	仕方なく子どもだけで留守番をさせた (N=22)	その他 (N=5)
	%	%	%	%	%	%	%	%	%
1～3日	52.0	26.1	44.4	50.0	41.9	0.0	0.0	68.2	40.0
4～6日	22.0	23.9	27.8	0.0	35.5	0.0	0.0	18.2	0.0
7～14日	11.4	28.4	13.0	25.0	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0
15～21日	0.8	6.8	2.8	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0
22～28日	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
29～35日	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
36～42日	0.0	0.6	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
43～49日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50～56日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
57日以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	13.8	11.3	11.1	25.0	9.7	100.0	100.0	13.6	60.0

①-1で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」を選んだ方

①-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(単数回答)

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」割合が就学前児童で46.4%、小学校児童で32.7%、「利用したいとは思わない」が就学前児童で52.6%、小学校児童で65.4%となっています。

保育施設の利用



◎病児・病後児保育施設等を利用したい方の日数(数量回答)

利用したい日数は、以下の表のとおりとなっています。

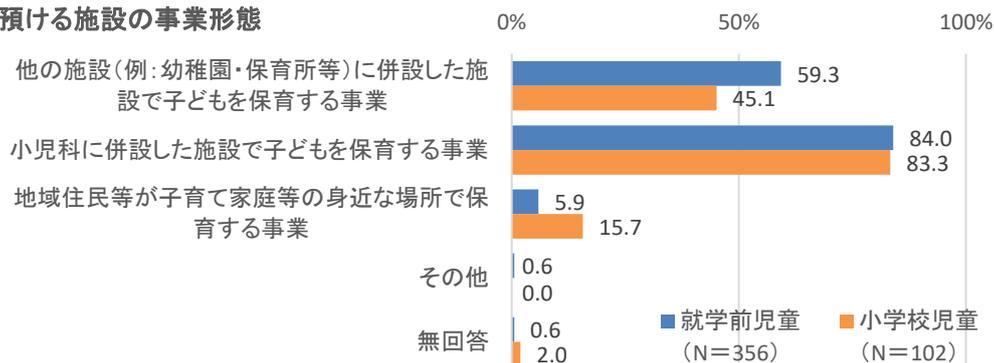
利用希望日数	就学前児童 (N=356)	小学校児童 (N=102)
	%	%
1～3日	19.1	32.4
4～6日	21.6	20.6
7～14日	23.9	24.5
15～21日	9.3	2.9
22～28日	1.1	0.0
29～35日	1.1	0.0
36～42日	0.8	0.0
43～49日	0.0	0.0
50～56日	0.3	0.0
57日以上	0.0	0.0
無回答	22.8	19.6

①-2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方

①-3 上記の目的で子どもを預ける場合、いずれの事業形態が望ましいと思われますか。(複数回答)

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が就学前児童で84.0%、小学校児童で83.3%と最も高くなっています。

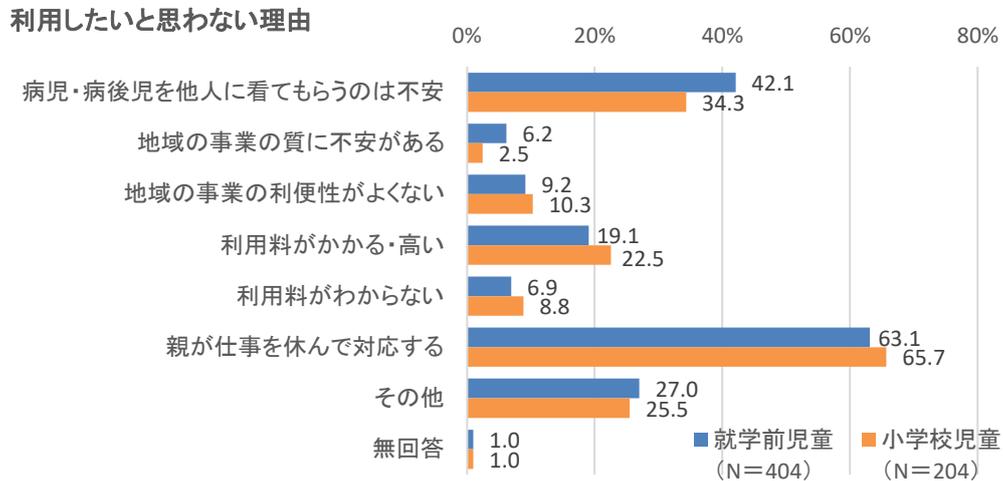
預ける施設の事業形態



①-2で「利用したいと思わない」を選んだ方

①-4 そう思われる理由についてあてはまるものすべて。(複数回答)

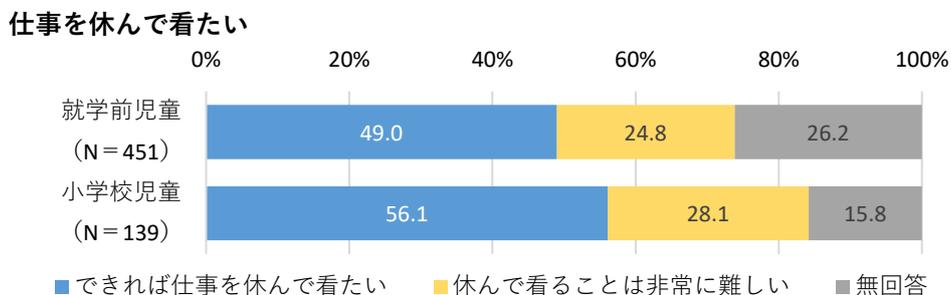
「親が仕事を休んで対応する」の割合が就学前児童で63.1%、小学校児童で65.7%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が就学前児童42.1%、小学校児童34.3%とは以下のとおりとなっています。



①-1で「父親、母親が休んだ」以外の対処方法を選んだ方

①-5 「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。(単数回答)

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が就学前児童で49.0%、小学校児童で56.1%と最も高く、「休んで看ることは非常に難しい」は就学前児童24.8%、小学校児童28.1%となっています。また、



◎仕事を休んで見たかった日数(数量回答)

休んで見たかった日数は、以下の表のとおりとなっています。

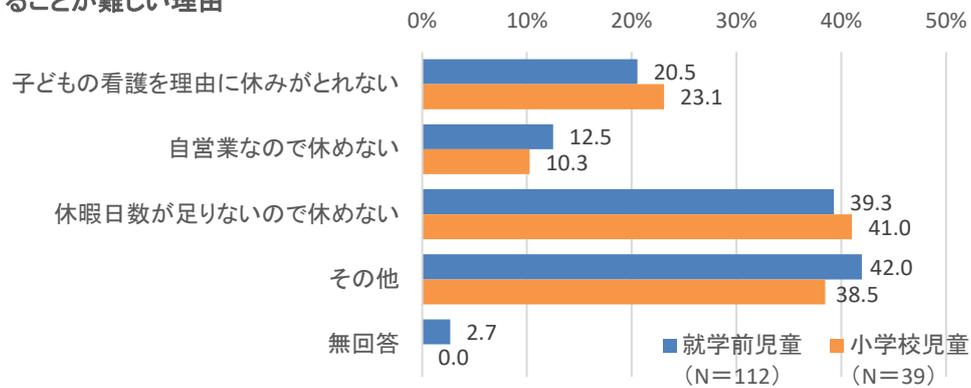
仕事を休んで看たい日数	就学前児童 (N=221)	小学校児童 (N=78)
	%	%
1~3日	31.2	48.7
4~6日	23.5	20.5
7~14日	24.9	14.1
15~21日	2.7	1.3
22~28日	0.5	0.0
29~35日	1.4	0.0
36~42日	0.9	0.0
43~49日	0.0	0.0
50~56日	0.0	0.0
57日以上	0.0	0.0
無回答	14.9	15.4

①-5で「休んで見ることは非常に難しい」を選んだ方

①-6 そう思われる理由についてあてはまるものすべて。(複数回答)

「休假日数が足りないので休めない」と「その他」の割合が、就学前児童、小学校児童においても高くなっています。「その他」の主な内容は、『給料が減る』、『人手不足』、『職場に言いにくい』、『仕事が忙しい』、『ほかの人に頼めない』などがありました。

看ることが難しい理由

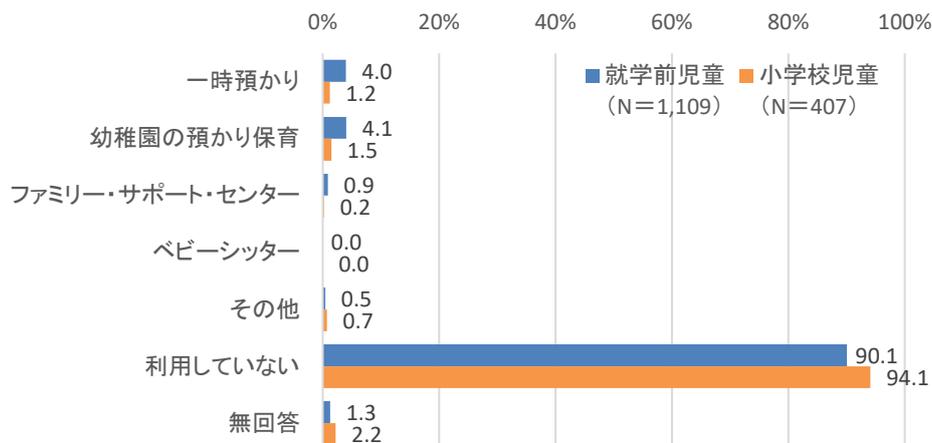


(10) お子さまの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

①日中の定期的な保育や定期的な放課後児童クラブなどの預かりサービスや病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(複数回答)

「利用していない」割合が就学前児童で90.1%、小学校児童で94.1%となっています。利用については以下のとおりとなっています。

不定期に利用している事業



それぞれの1年間の利用日数は、以下の表のとおりとなっています。

◎ 1年間の利用日数（数量回答）

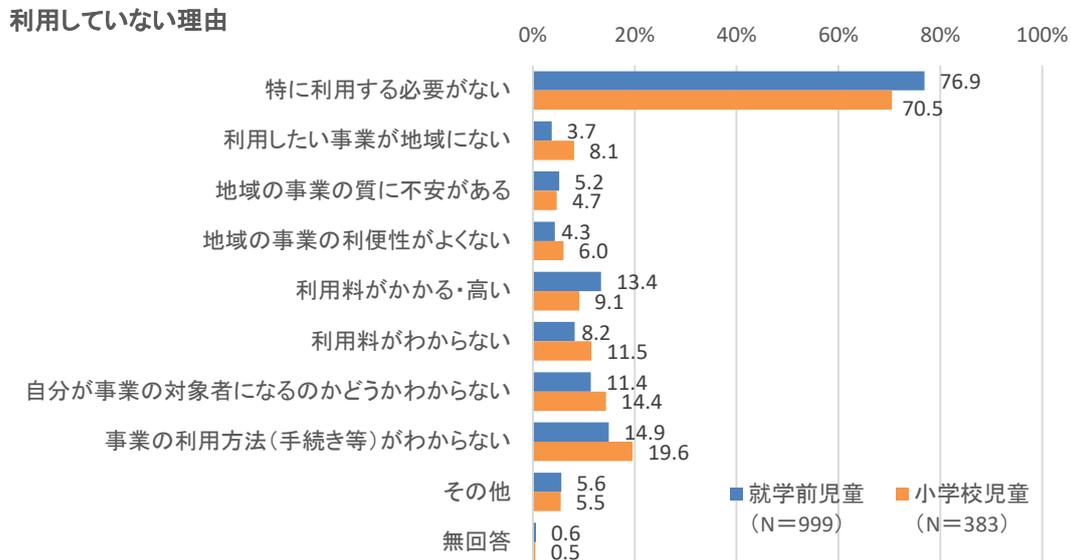
【就学前児童】 利用日数	一時預かり (N=44)	幼稚園の預かり保育 (N=450)	ファミリー・サポート・センター (N=10)	ベビーシッター (N=0)	その他 (N=5)
	%	%	%	%	%
1～3日	36.4	22.2	80.0		60.0
4～6日	11.4	24.4	20.0		0.0
7～14日	20.5	31.1	0.0		20.0
15～21日	18.2	11.1	0.0		0.0
22～28日	2.3	0.0	0.0		0.0
29～35日	2.3	2.2	0.0		0.0
36～42日	0.0	0.0	0.0		0.0
43～49日	0.0	0.0	0.0		0.0
50～56日	0.0	2.2	0.0		20.0
57日以上	2.3	2.2	0.0		0.0
無回答	6.8	4.4	0.0		0.0

【小学校児童】 利用日数	一時預かり (N=53)	幼稚園の預かり保育 (N=6)	ファミリー・サポート・センター (N=18)	ベビーシッター (N=4)	その他 (N=3)
	%	%	%	%	%
1～3日	20.0	33.3	0.0		0.0
4～6日	40.0	0.0	100.0		0.0
7～14日	0.0	33.3	0.0		0.0
15～21日	0.0	0.0	0.0		0.0
22～28日	0.0	0.0	0.0		0.0
29～35日	0.0	16.7	0.0		0.0
36～42日	0.0	16.7	0.0		0.0
43～49日	20.0	0.0	0.0		0.0
50～56日	0.0	0.0	0.0		0.0
57日以上	0.0	0.0	0.0		0.0
無回答	20.0	0.0	0.0		100.0

①で「利用していない」を選んだ方

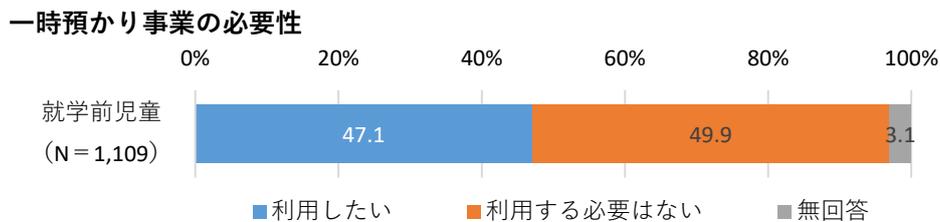
①-2 現在利用していない理由は何ですか。(複数回答)

「特に利用する必要がない」割合が就学前児童で76.9%、小学校児童で70.5%と最も高くなっています。他の理由は以下のとおりとなっています。

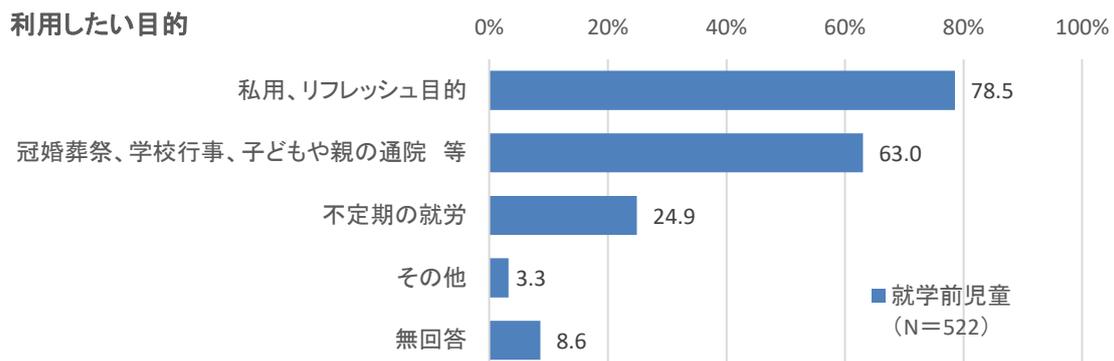


②私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり等の事業を利用する必要があると思いますか。(単数回答)【就学前児童】

「利用したい」割合が47.1%、「利用する必要はない」が49.9%となっています。



また、利用したい方の利用目的(複数回答)についてみると、「私用、リフレッシュ目的」の割合が78.5%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」63.0%と他は以下のとおりとなっています。



◎利用したい年間日数（数量回答）

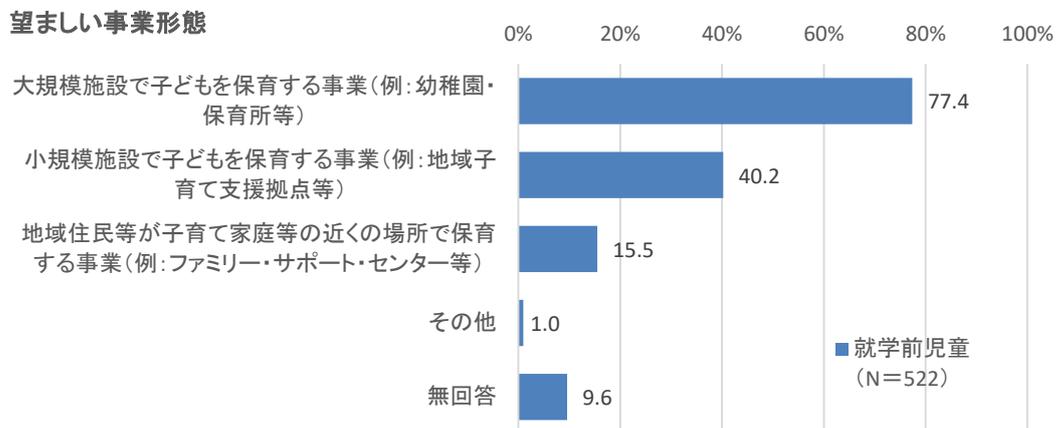
利用したい年間日数は以下の表のとおりとなっています。

【就学前児童】 利用希望日数	合計 (N=522)	私用 (N=410)	冠婚葬祭、学 校行事、通院な ど (N=329)	不特定の就労 (N=130)	その他 (N=17)
	%	%	%	%	%
1～3日	9.8	21.2	31.0	23.8	23.5
4～6日	13.2	27.6	36.5	27.7	23.5
7～14日	31.6	36.1	27.4	26.9	29.4
15～21日	16.3	5.6	2.1	4.6	0.0
22～28日	7.3	4.4	1.2	6.2	5.9
29～35日	4.0	2.7	0.9	2.3	0.0
36～42日	2.9	0.0	0.3	3.8	5.9
43～49日	1.0	1.0	0.0	1.5	0.0
50～56日	1.3	0.0	0.3	0.0	5.9
57日以上	4.0	1.5	0.3	3.1	5.9
無回答	8.6	0.0	0.0	0.0	0.0

②で「利用したい」を選んだ方

- ②-1 ②の目的でお子さまを預ける場合、いずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(複数回答)

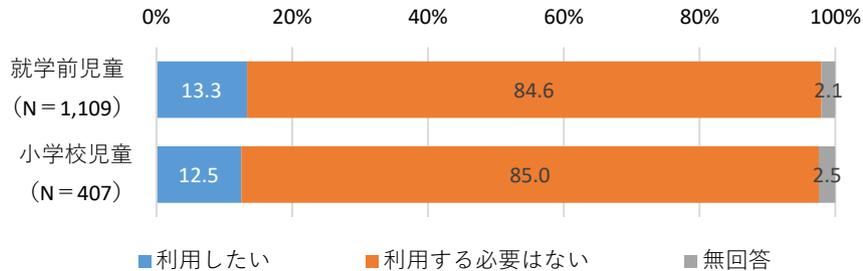
「大規模施設で子どもを預かる事業」の割合が77.4%と最も高くなっています。



③お子さまの保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族《兄弟姉妹含む》の育児疲れや育児不安、病気など)、お子様を泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要がありますか。
(単数回答)

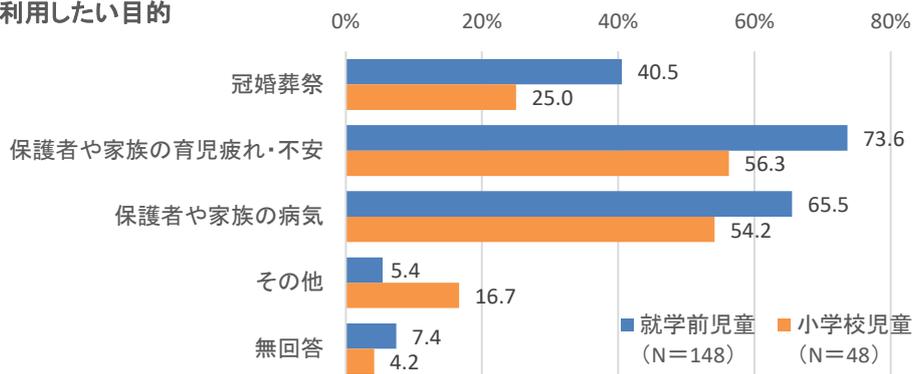
「利用したい」割合は就学前児童で13.3%、小学校児童で12.5%、「利用する必要はない」は就学前児童で84.6%、小学校児童で85.0%となっています。

泊りの事業の必要性



利用したい人の目的は、「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が最も高く、就学前児童で73.6%、小学校児童で56.3%、次いで「保護者や家族の病気」が就学前児童で65.5%、小学校児童で54.2%と他は以下のとおりとなっています。

利用したい目的



◎利用したい年間泊数(数量回答)

それぞれの利用希望年間泊数は、以下の表のとおりとなっています。

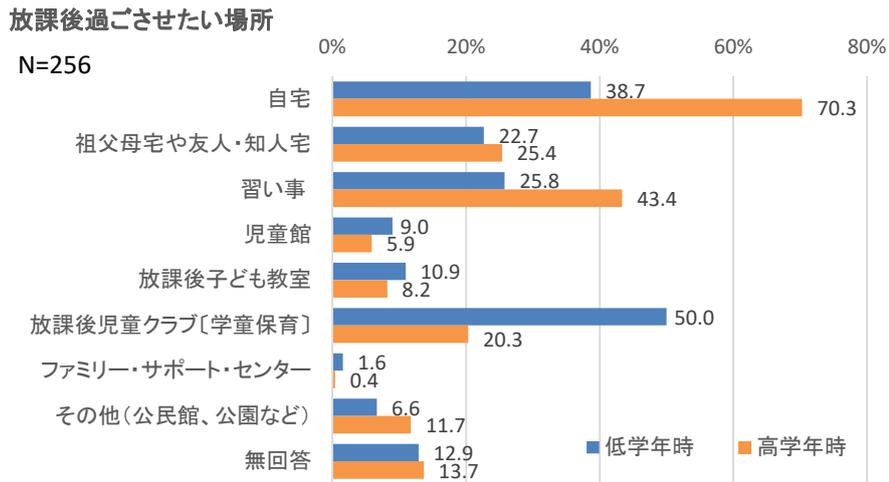
【就学前児童】 利用希望日数	合計	冠婚葬祭	保護者や家族 の育児疲れ・不安	保護者や家族 の病気	その他
	(N=148) %	(N=60) %	(N=109) %	(N=97) %	(N=8) %
1~3泊	35.1	88.3	63.3	61.9	37.5
4~6泊	23.6	5.0	22.0	22.7	50.0
7~14泊	20.9	6.7	12.8	14.4	0.0
15~21泊	5.4	0.0	0.9	1.0	0.0
22~28泊	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0
29~35泊	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0
36~42泊	0.7	0.0	0.0	0.0	12.5
43~49泊	0.7	0.0	0.9	0.0	0.0
50~56泊	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
57泊以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0

【小学校児童】 利用希望日数	合計	冠婚葬祭	保護者や家族 の育児疲れ・不安	保護者や家族 の病気	その他
	(N=51) %	(N=12) %	(N=27) %	(N=26) %	(N=8) %
1~3泊	43.1	100.0	63.0	61.5	50.0
4~6泊	19.6	0.0	14.8	23.1	12.5
7~14泊	13.7	0.0	14.8	15.4	12.5
15~21泊	7.8	0.0	0.0	0.0	12.5
22~28泊	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
29~35泊	3.9	0.0	3.7	0.0	0.0
36~42泊	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
43~49泊	2.0	0.0	3.7	0.0	0.0
50~56泊	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
57泊以上	2.0	0.0	0.0	0.0	12.5
無回答	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0

(11) 小学校就学後の放課後の過ごし方について【5歳以上の就学前児童】

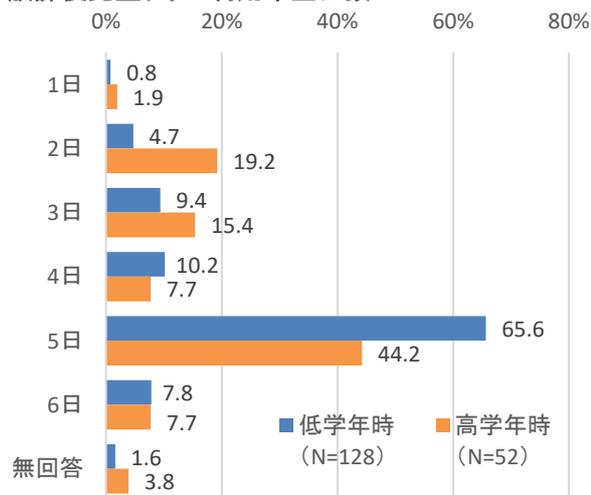
①お子さまについて、小学校低学年（1～3年生）と小学校高学年では、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに。（複数回答）

低学年時では「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が50.0%、高学年時では「自宅」が70.3%と最も高く、次いで低学年時では「自宅」が38.7%、高学年時では「習い事」が43.4%と他は以下のとおりとなっています。

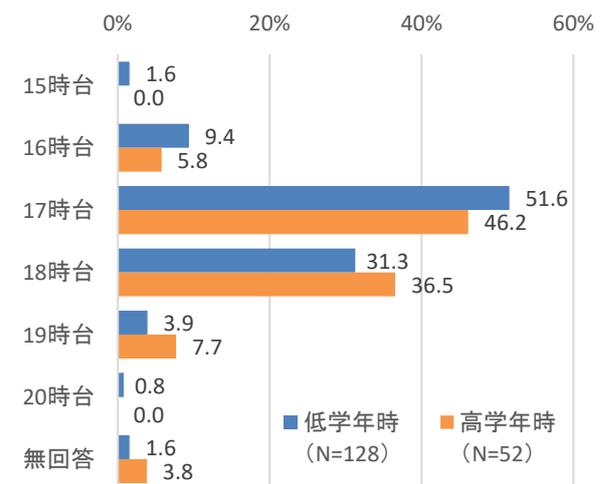


①で放課後児童クラブ〔学童保育〕を選んだ方の利用希望日数は、低学年、高学年ともに「5日」の割合が、利用希望終了時間は低学年、高学年ともに「17時台」までが最も高くなっています。

放課後児童クラブ利用希望日数



放課後児童クラブ利用希望終了時間

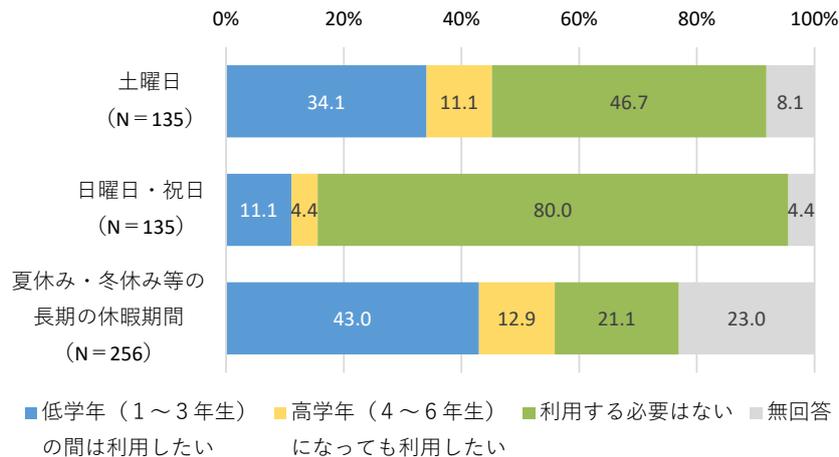


①で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選んだ方、(夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間については5歳以上のお子さまのいる方

②土曜日と日曜日・祝日及び夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(単数回答)

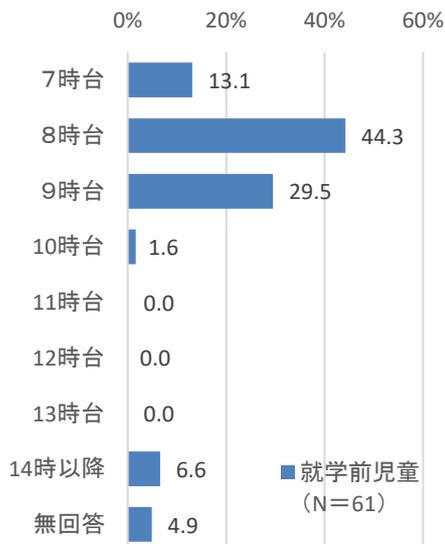
土曜日と日曜日・祝日では、「利用する必要はない」の割合がそれぞれ46.7%、80.0%と最も高く、「低学年の間は利用したい」が34.1%、11.1%、「高学年になっても利用したい」が11.1%、4.4%となっています。夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中では「低学年の間は利用したい」が43.0%と最も高くなっています。

放課後児童クラブの利用希望



希望する利用時間帯については、土曜日では開始時間は「8時台」、終了時間は「17時台」と「18時台」の割合が高くなっています。

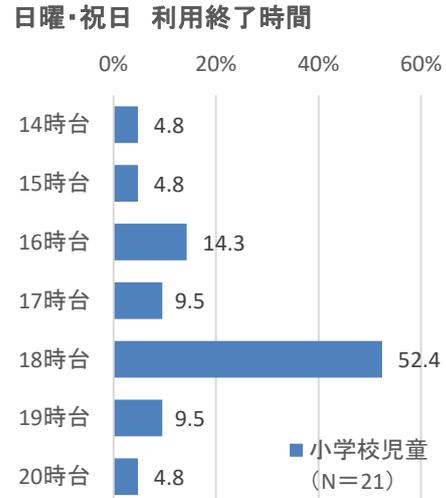
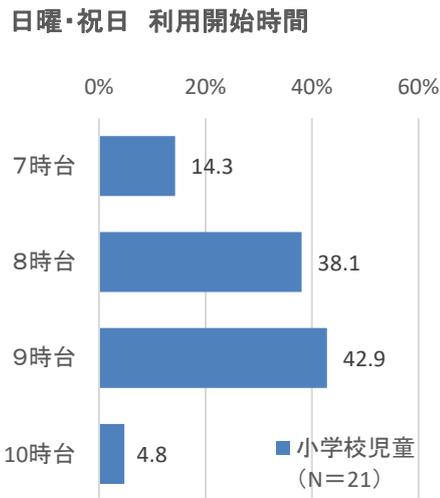
土曜日 利用開始時間



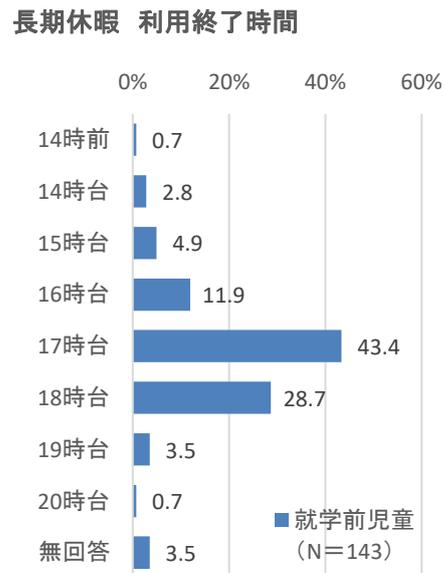
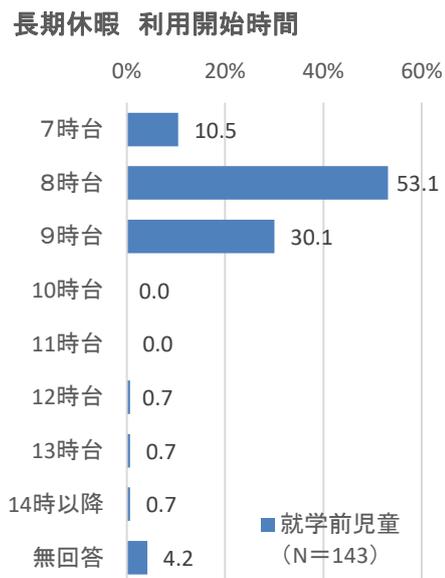
土曜日 利用終了時間



希望する利用時間帯については、日曜・祝日では開始時間は「9時台」、終了時間は「18時台」の割合が高くなっています。



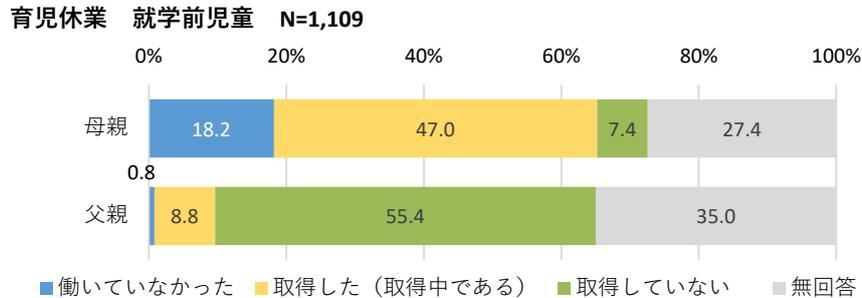
長期休暇中では開始時間は「8時台」、終了時間は「17時台」の割合が高くなっています。



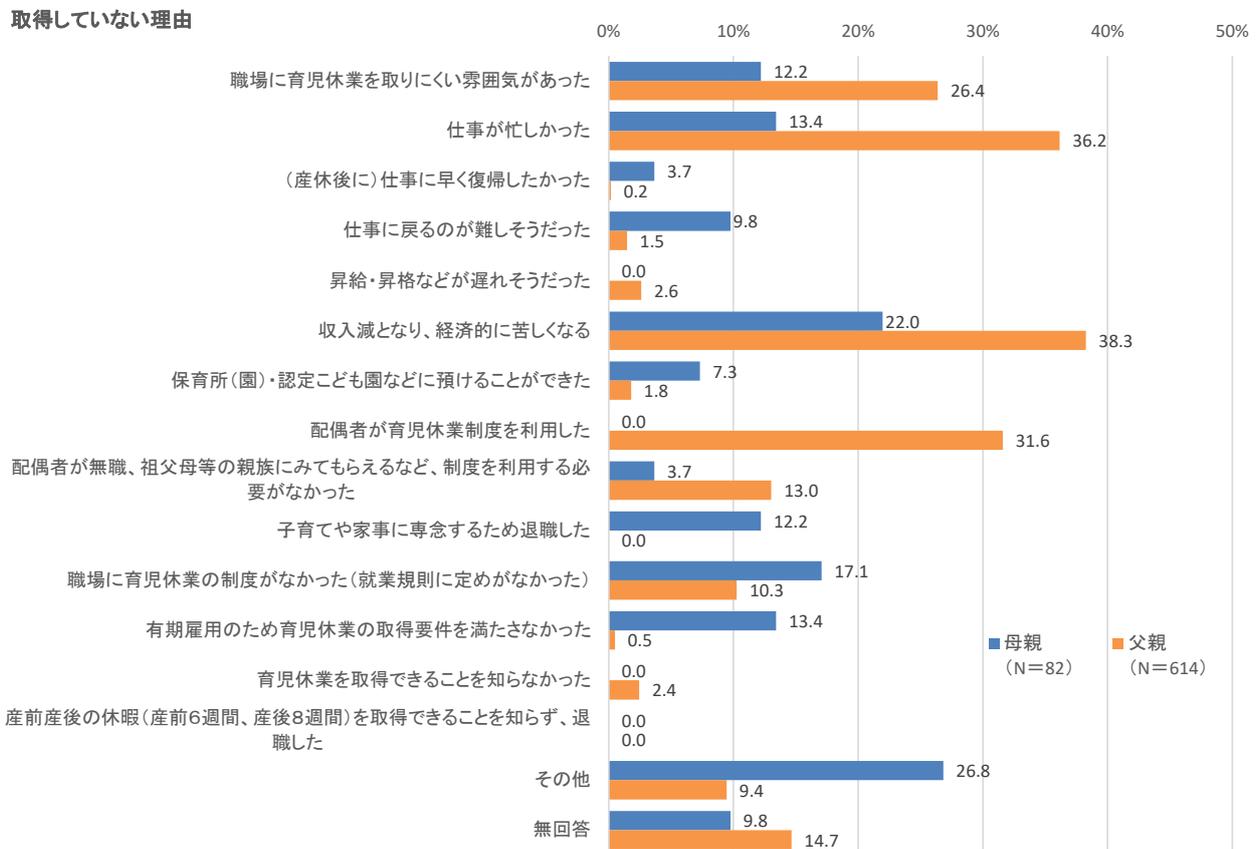
(12) 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について【就学前児童】

①お子さまが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて。(単数回答)

母親では「取得した(取得中である)」の割合が47.0%、父親では「取得していない」が55.4%と最も高くなっています。また、父親の「取得した(取得中である)」は8.8%となっています。



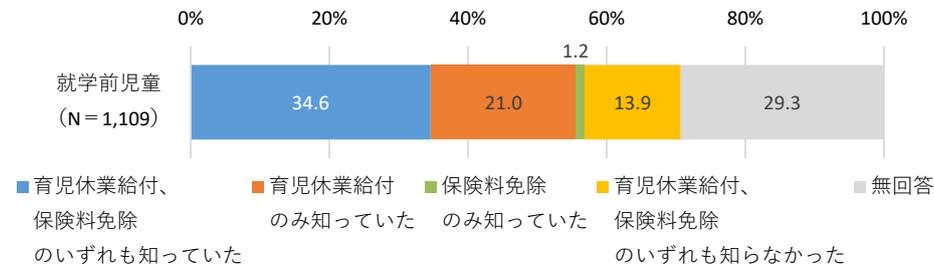
取得していない方の理由は、母親では「その他」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が、父親では「収入減となり、経済的に苦しくなる」と「仕事が忙しかった」が高くなっています。母親の「その他」の主な内容には『自営業のため』、『アルバイトのため』、『産後うつのため』等がありました。



①-1 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組みと、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。(単数回答)

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」割合が34.6%と最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」21.0%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」13.9%、「保険料免除のみ知っていた」1.2%となっています。

育児休業制度の認知度

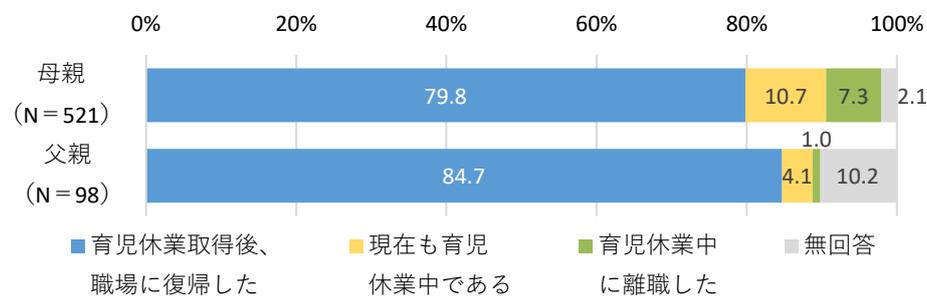


①で「取得した(取得中である)」を選んだ方

①-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか(単数回答)

母親、父親ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」割合がそれぞれ79.8%、84.7%と高い割合となっています。

育児休業後の職場復帰

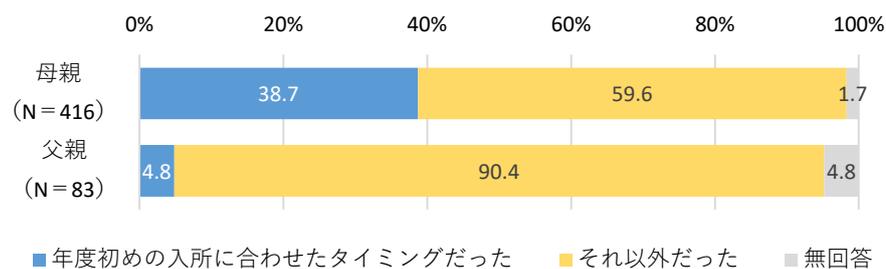


①-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方

①-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所(園)、認定こども園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(単数回答)

「それ以外だった」の割合が母親で59.6%、父親で90.4%と高く、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が母親38.7%、父親4.8%となっています。

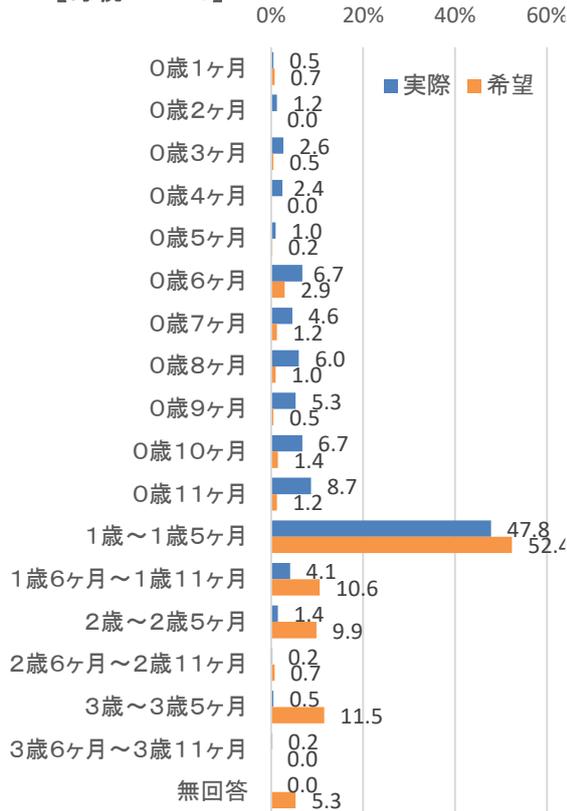
職場復帰のタイミング



①-4 育児休業からは、「実際」にお子さまが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。
(数量回答)

母親では実際、希望ともに「1歳～1歳5ヶ月」の割合がそれぞれ47.8%、52.4%と最も高くなっています。父親では、実際は「0歳1か月」が71.1%と最も高く、希望は「0歳1か月」と「1歳～1歳5か月」が高くなっています。

育児休業からの復帰と希望
【母親 N=416】



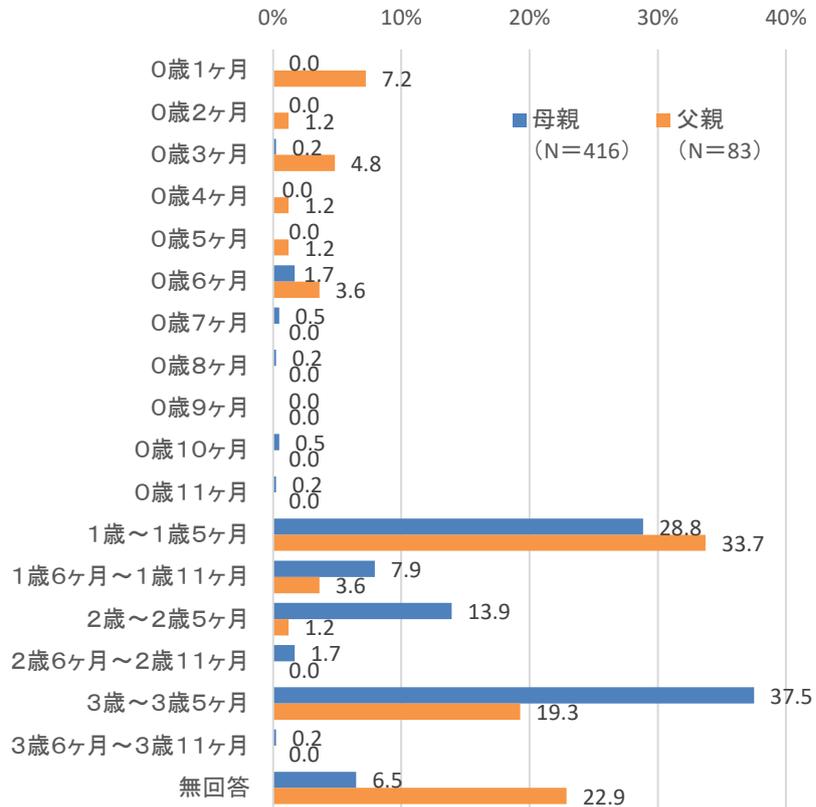
育児休業からの復帰と希望
【父親 N=83】



①-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合に、「希望」はお子さまが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。(数量回答)

母親では「3歳～3歳5ヶ月」の割合が37.54%と最も高く次いで「1歳～1歳5か月」28.8%、父親では「1歳～1歳5か月」が33.7%と最も高く他は以下のとおりとなっています。

育児休業取得の希望



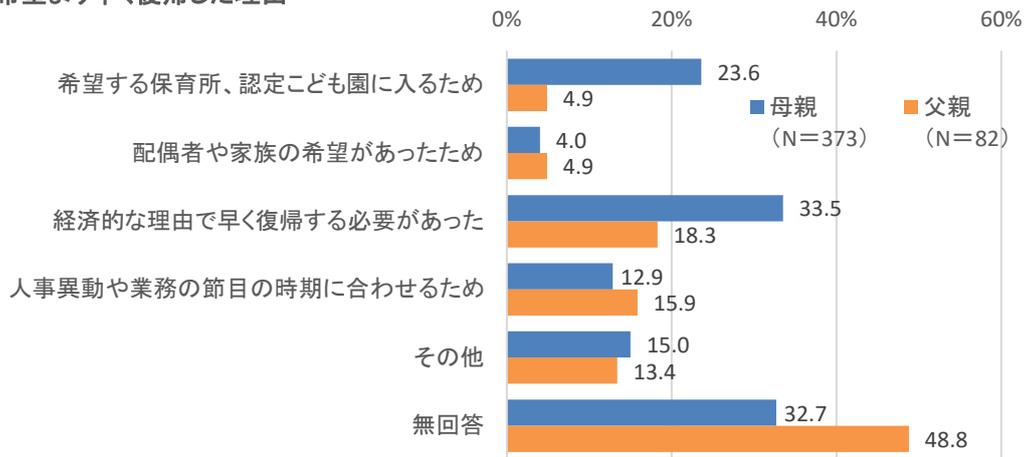
①-4で実際の復帰と希望が異なる方

①-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由について。(複数回答)

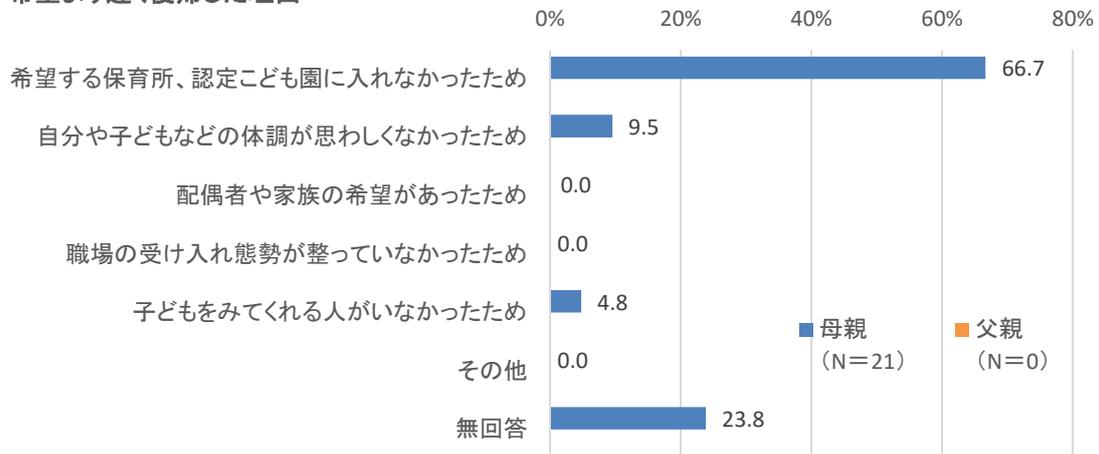
『希望』より早く復帰した方では、母親では「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が33.5%、と最も高く次いで「希望する保育所、認定こども園に入るため」23.6%、父親では「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が18.3%と最も高く他は以下のとおりとなっています。

また、『希望』より遅く復帰した方では、母親で「希望する保育所、認定こども園に入れなかったため」が66.7%と最も高くなっています。父親は該当者がありませんでした。

希望より早く復帰した理由



希望より遅く復帰した理由

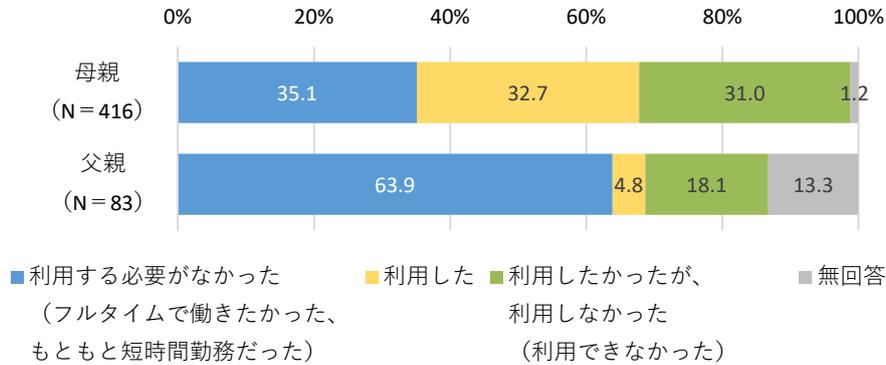


①-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方

①-7 育児休業からの職場復帰には、短時間勤務制度を利用しましたか。(単数回答)

母親では「利用する必要がなかった」の割合が35.1%、「利用した」32.7%、「利用したかったが、利用しなかった」31.0%となっています。父親では「利用する必要がなかった」が63.9%、「利用したかったが、利用しなかった」18.1%、「利用した」4.8%でした。

短時間勤務制度

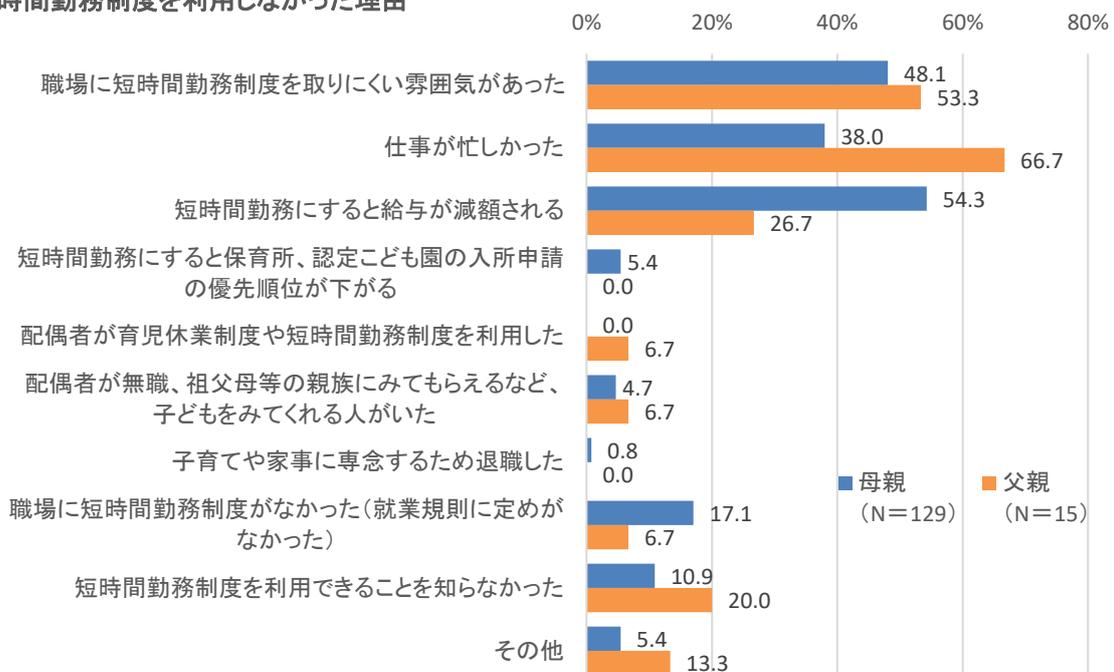


①-7で「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」を選んだ方

①-8 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。(複数回答)

母親では「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が54.3%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が48.1%と高く、父親では「仕事が忙しかった」が66.7%と最も高くなっており他は以下のとおりとなっています。

短時間勤務制度を利用しなかった理由

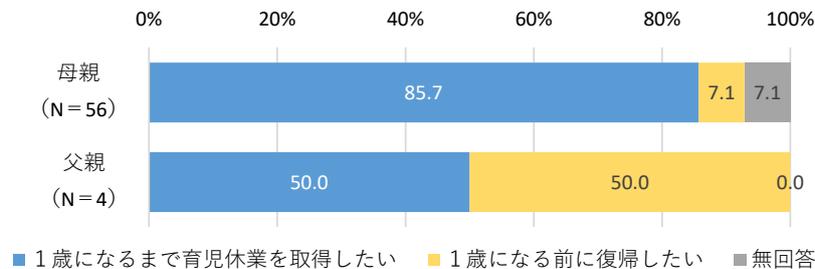


①-2で「現在も育児休業中である」を選んだ方

- ①-9 お子さまが1歳になったときに、必ず利用できるお子さまを預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(単数回答)

母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が85.7%と最も高くなっています。父親で4名の該当者があり、以下のとおりとなっています。

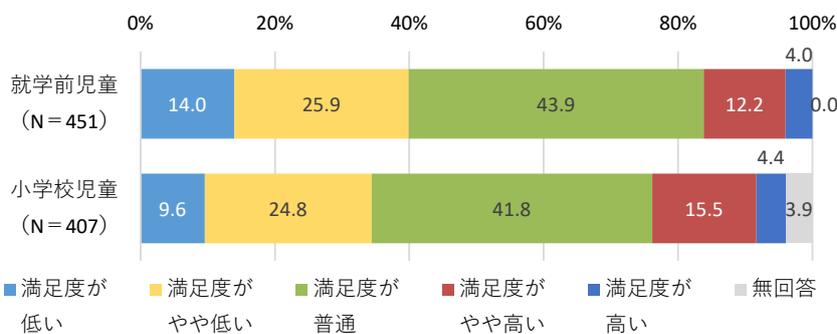
1歳まで育児休業を取得するか



(13) お住まいの地域の子育て支援事業や環境の満足度について。(単数回答)

「満足度が普通」の割合が就学前児童で43.9%、小学校児童で41.8%と最も高く、次いで就学前児童では「満足度がやや低い」25.9%、「満足度が低い」14.0%、「満足度がやや高い」12.2%、「満足度が高い」4.0%の順と続き、小学校児童では、「満足度がやや低い」24.8%、「満足度がやや高い」15.5%、「満足度が低い」9.6%、「満足度が高い」4.4%の順となっています。

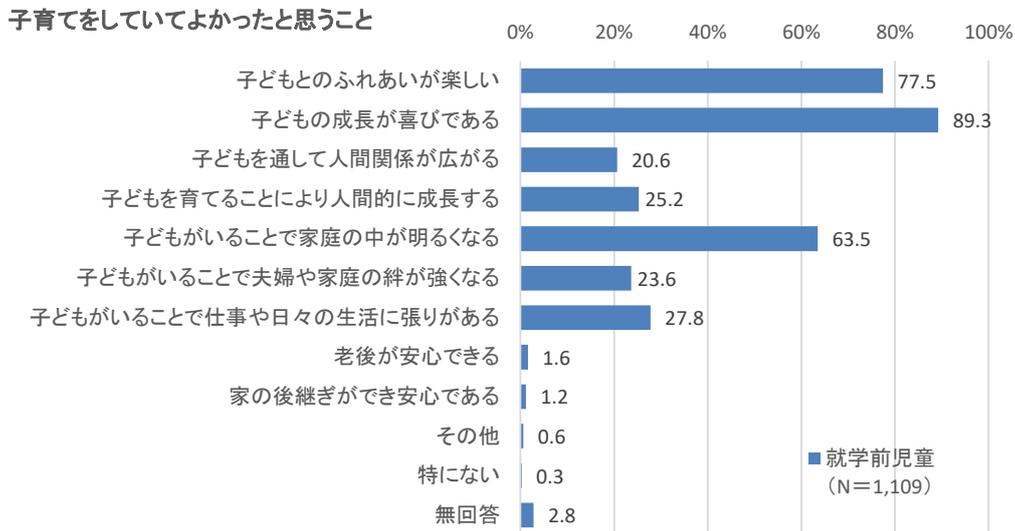
お住まいの地域の子育て支援事業などの満足度



(14) お子さまの子育てや家庭生活などについて

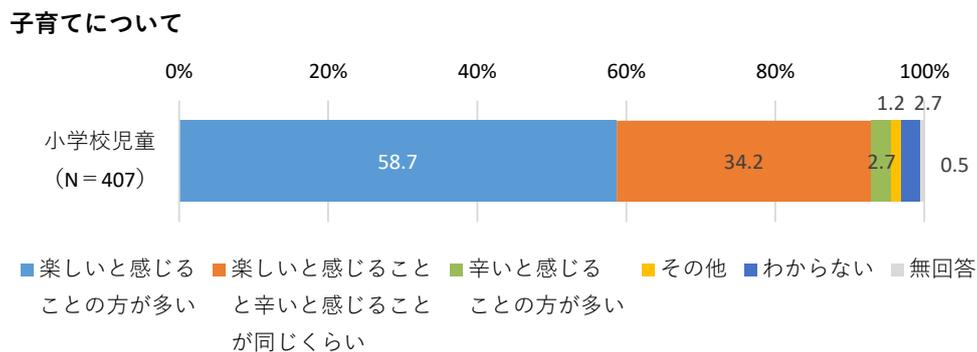
①子育てをされていてよかったと思うことや、喜びを感じたことは何ですか。(3つまでに○)
【就学前児童】

「子どもの成長が喜びである」の割合が 89.3%と最も高く、「子どもとのふれあいが楽しい」77.5%、「子どもがいることで家庭の中が明るくなる」63.5%と他は以下のとおりとなっています。



②自分にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか (単数回答) 【小学校児童】

「楽しいと感じることの方が多く」割合が 58.7%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が 34.2%、「辛いと感じることの方が多く」と「わからない」が 2.7%、「その他」1.2%となっています。

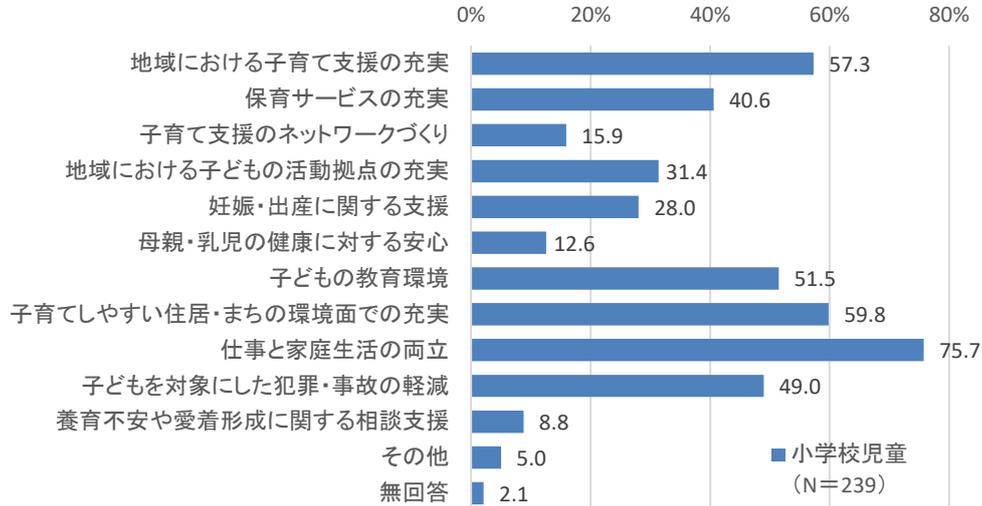


①で「楽しいと感じることの方が多い」を選んだ方

①-1 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。(複数回答)

「仕事と家庭生活の両立」の割合が75.7%と最も高く、次いで「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」59.8%、「地域における子育て支援の充実」57.3%、「子どもの教育環境」51.5%、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」49.0%と他は以下のとおりとなっています。

子育てが楽しいと感じる方の有効な支援・対策

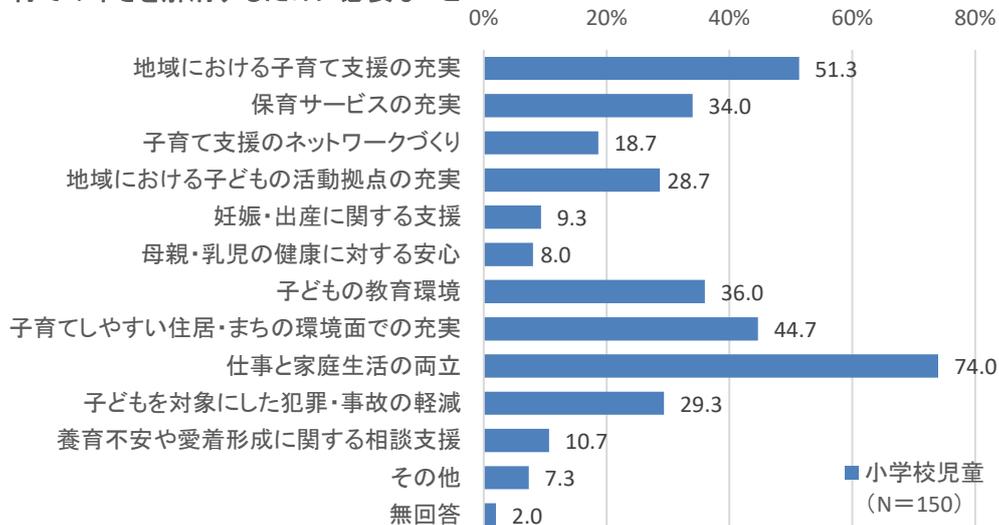


①で「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」と「辛いと感じることの方が多い」を選んだ方

①-2 自分にとって子育ての辛さを解消するために必要なことは何ですか。(複数回答)

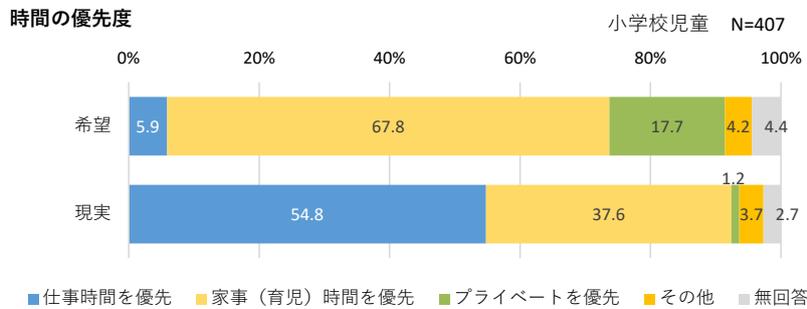
「仕事と家庭生活の両立」の割合が74.0%と最も高く、次いで、「地域における子育て支援の充実」51.3%、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」44.7%、「子どもの教育環境」36.0%と他は以下のとおりとなっています。

子育ての辛さを解消するために必要なこと



②生活の中で、「仕事時間」と「家事(育児)・プライベートの生活時間」の優先度についてお伺いします。【希望】と【現実】それぞれについて。(単数回答)【小学校児童】

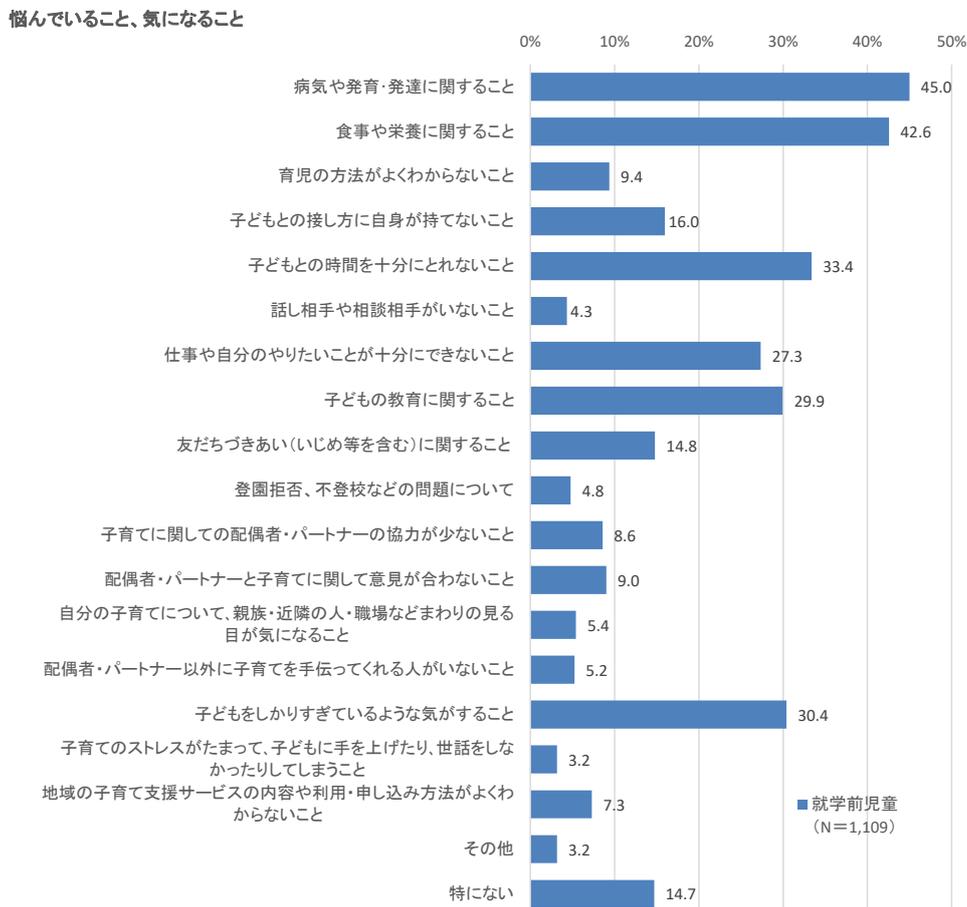
『希望』では「家事(育児)時間を優先」の割合が67.8%と最も高く、「プライベートを優先」17.7%、「仕事時間を優先」5.9%なっています。『現実』では「仕事時間を優先」が54.8%と最も高く、「家事(育児)時間を優先」37.6%、「その他」3.7%、「プライベートを優先」1.2%となっています。



(15) 子育ての悩みや相談、情報について【就学前児童】

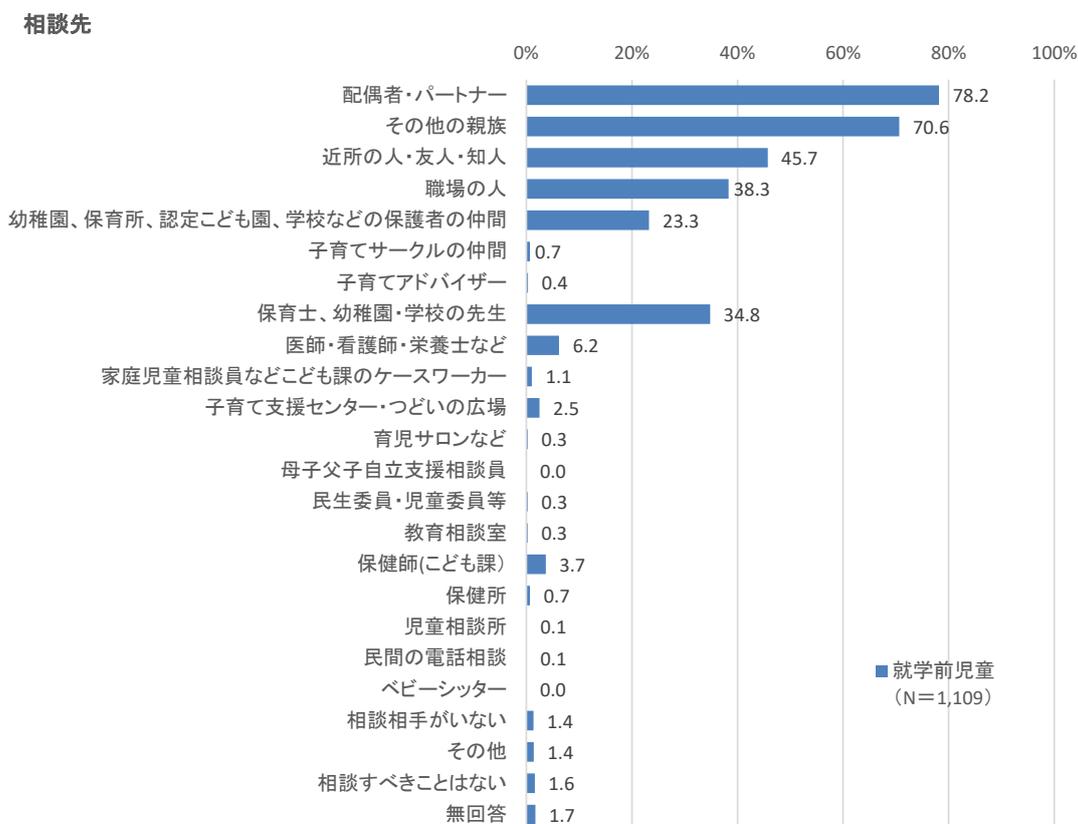
①子育てをする上で、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。(複数回答)

「病気や発育、発達に関すること」の割合が45.0%と最も高く、次いで「食事や栄養に関すること」42.6%、「子どもとの時間を十分にとれないこと」33.4%、「子どもをしかりすぎているような気がする」30.4%と他は以下のとおりとなっています。



②悩みや不安をどなたに相談されていますか。(複数回答)

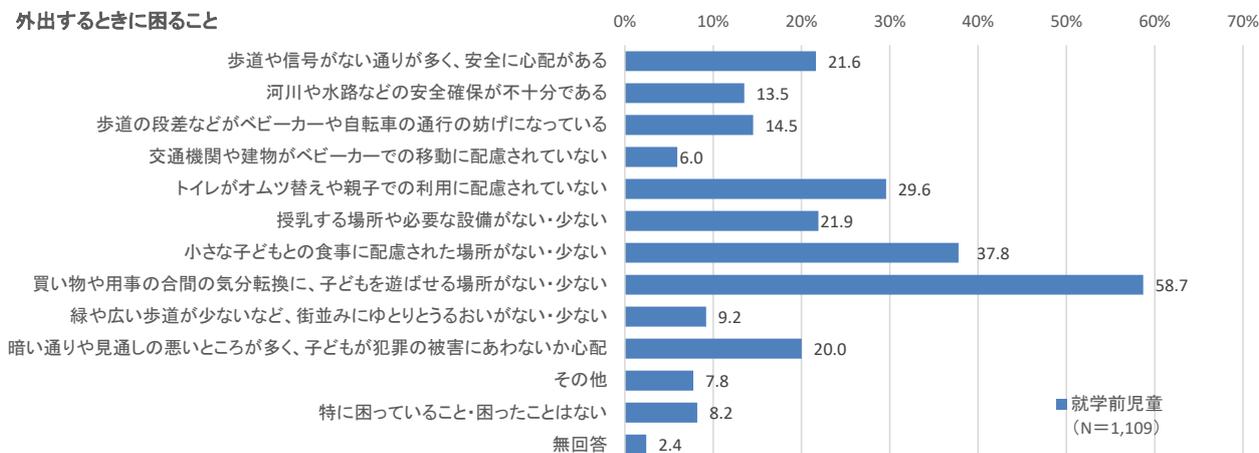
「配偶者・パートナー」の割合が78.2%と最も高く、次いで「その他の親族」70.6%、「近所の人・友人・知人」45.7%、「職場の人」38.3%と他は以下のとおりとなっています。



(16) 子育てがしやすい環境について【就学前児童】

①子どもと外出するときに、困ること・困ったこと(複数回答:回答は3つまで)

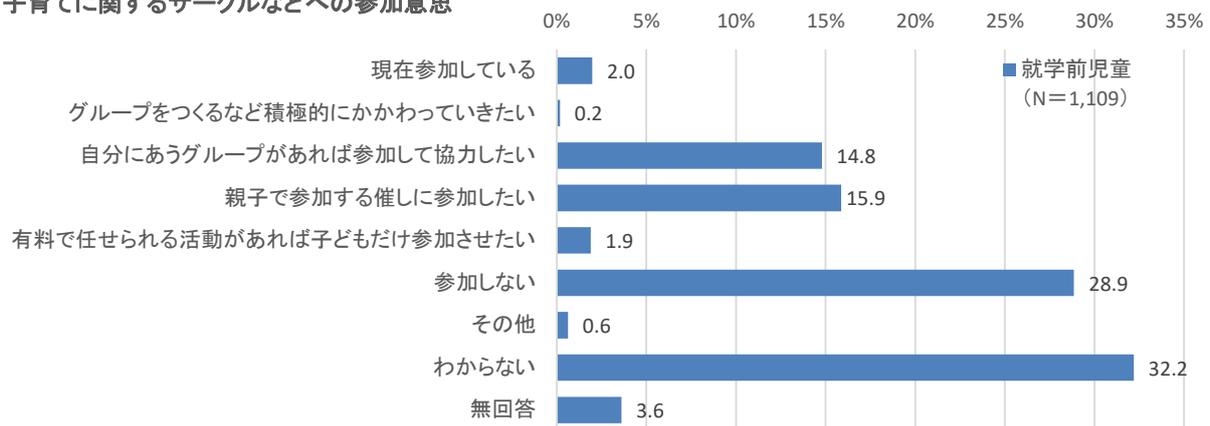
「買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない・少ない」割合が58.7%と最も高く、次いで「小さな子どもとの食事に配慮された場所がない・少ない」37.8%、「トイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」29.6%と他は以下のとおりとなっています。



②今後、子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加するつもりはありますか。継続の場合も含みます。(単数回答)

「わからない」の割合が32.2%と最も高く、次いで「参加しない」28.9%、「親子で参加する催しに参加したい」15.9%、「自分にあうグループがあれば参加して協力したい」14.8%、「現在参加している」2.0%、「有料で任せられる活動があれば子どもだけ参加させたい」1.9%、「その他」0.6%、「グループをつくるなど積極的にかかわっていききたい」0.2%となっています。

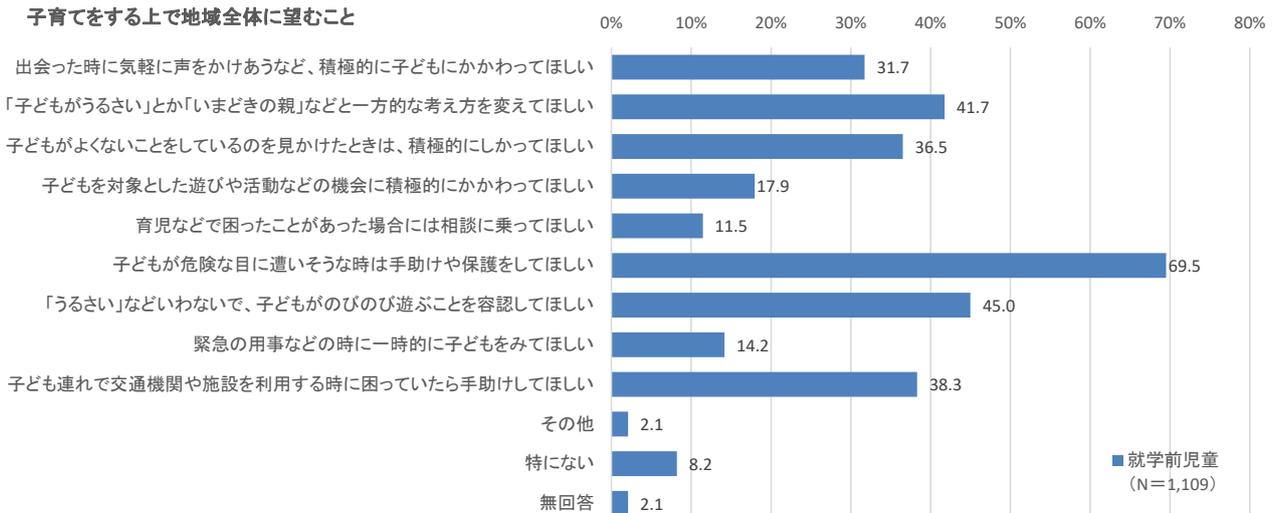
子育てに関するサークルなどへの参加意思



③子育てをする上で、地域全体にあなたが望むのはどのようなことですか。(複数回答)

「子どもが危険な目に遭いそうな時は手助けや保護をしてほしい」割合が69.5%と最も高く、次いで「『うるさい』などどいわないで、子どもがのびのび遊ぶことを容認してほしい」45.0%、「『子どもがうるさい』とか『いまだきの親』などど一方的な考え方を変えてほしい」41.7%と他は以下のとおりとなっています。

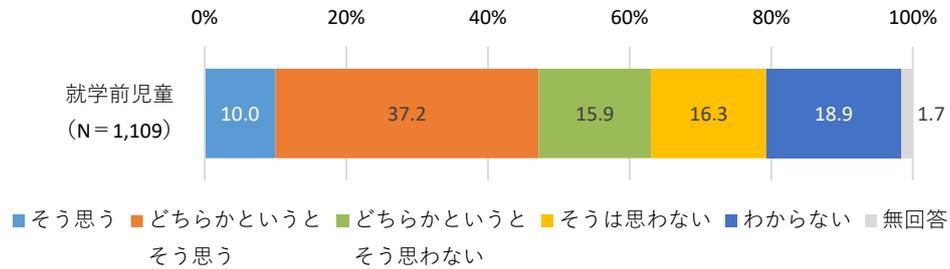
子育てをする上で地域全体に望むこと



④日向市は子育てをしやすいまちだと思いますか。(単数回答)

「どちらかというと思う」割合が37.2%と最も高く、「わからない」18.9%、「そうは思わない」16.3%、「どちらかというと思わない」15.9%、「そう思う」10.0%となっています。

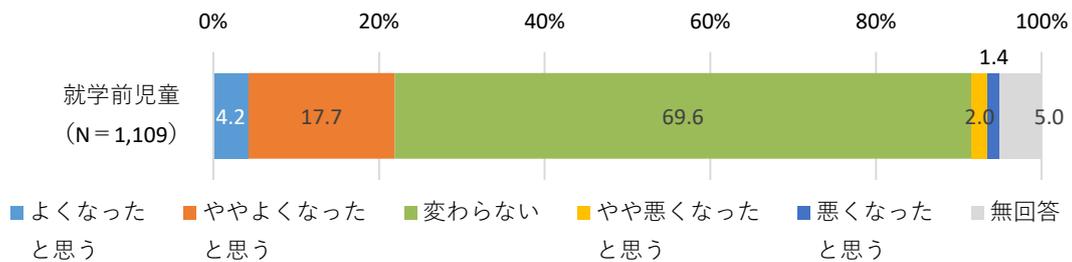
日向市は子育てをしやすいまちだと思うか



⑤この5年間で、日向市の子育て環境は変わったと思いますか。(単数回答)

「変わらない」の割合が69.6%と最も高く、「ややよくなったと思う」17.7%、「よくなったと思う」4.2%、「やや悪くなったと思う」2.0%、「悪くなったと思う」1.4%となっています。

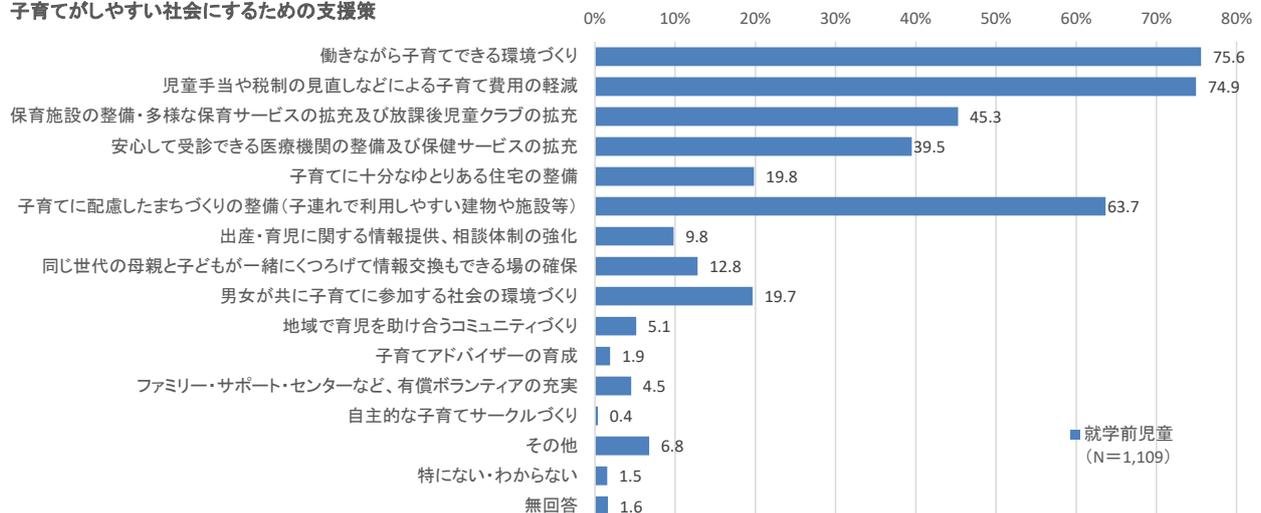
5年間の日向市の子育て環境の変化について



⑥子育てがしやすい社会にするためには、どのような支援策が必要だと思いますか。5つまで○(複数回答)

「働きながら子育てできる環境づくり」の割合が75.6%と最も高く、次いで「児童手当や税制の見直しなどによる子育て費用の軽減」74.9%、「子育てに配慮したまちづくりの整備」63.7%と他は以下のとおりとなっています。

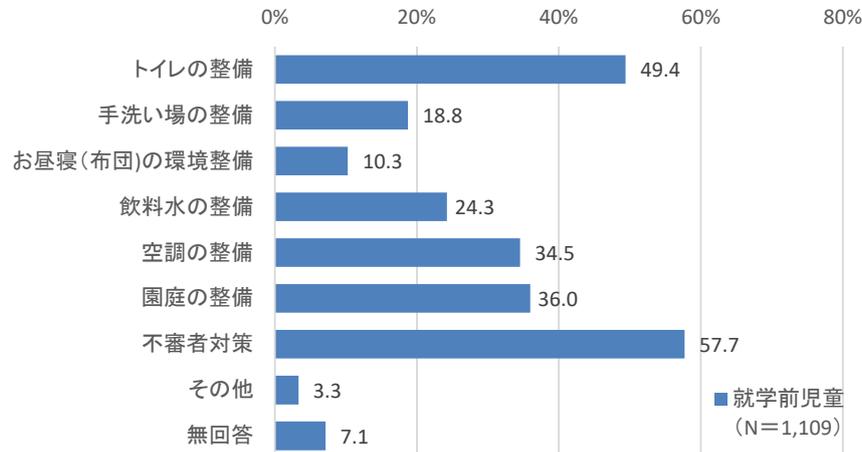
子育てがしやすい社会にするための支援策



⑦教育・保育事業の衛生・安全面について、どのようなことを望みますか。3つまで○（複数回答）

「不審者対策」の割合が57.7%と最も高く、次いで「トイレの整備」49.4%、「園庭の整備」36.0%、「空調の整備」34.5%と他は以下のとおりとなっています。

衛生・安全面に望むこと

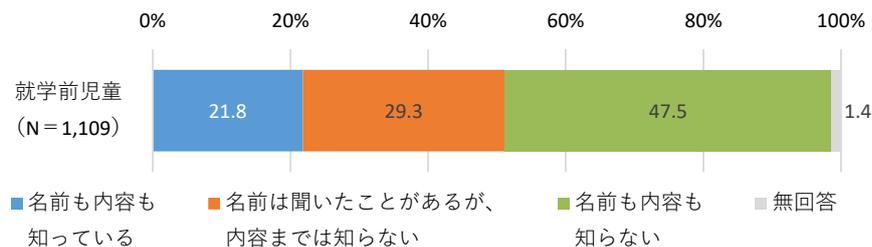


(17) 仕事と子育ての両立について【就学前児童】

①国では「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」及び「仕事と生活の調和推進のための行動指針」を策定し、推進しています。あなたはワーク・ライフ・バランスを知っていますか。（単数回答）

「名前も内容も知らない」の割合が47.5%と最も高く、「名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない」29.3%、「名前も内容も知っている」21.8%となっています。

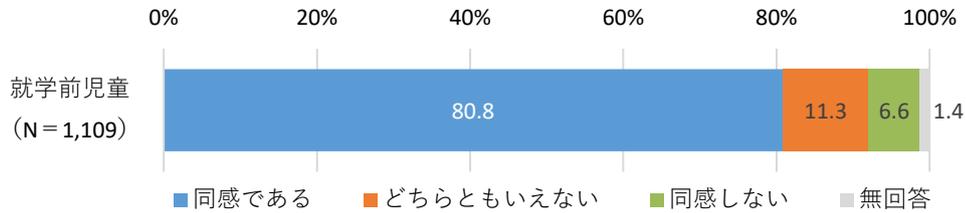
ワーク・ライフ・バランスについて



②「男は仕事、女は家庭」といった昔ながらの固定的な考え方を換え、男女が協力しあい育児や家事を分担していくことが必要だという考え方についてどう思いますか。(単数回答)

「同感である」の割合が80.8%と最も高く、「どちらともいえない」11.3%、「同感しない」6.6%となっています。

男女が協力しあっていくことが必要だという考え方について

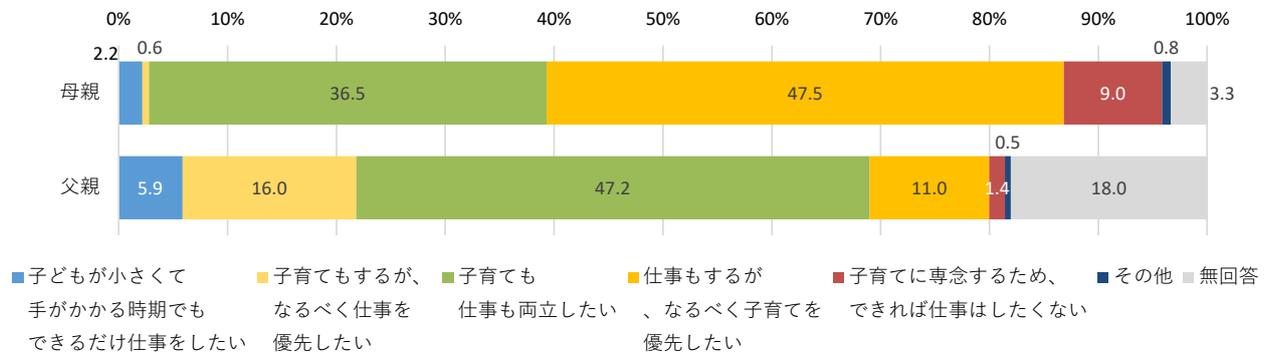


③仕事と子育てについてどう考えますか。(単数回答)

母親では「仕事もするが、なるべく子育てを優先したい」割合が47.5%と最も高く、次いで「子育ても仕事も両立したい」36.5%、「子育てに専念するため、できれば仕事はしたくない」9.0%と他は以下のとおりとなっています。父親では、「子育ても仕事も両立したい」割合が47.2%と最も高く、次いで「子育てもするがなるべく仕事を優先したい」16.0%、「子どもが小さくて手がかかる時期でもできるだけ仕事をしたい」5.9%と他は以下のとおりとなっています。

仕事と子育てについてどう考えるか

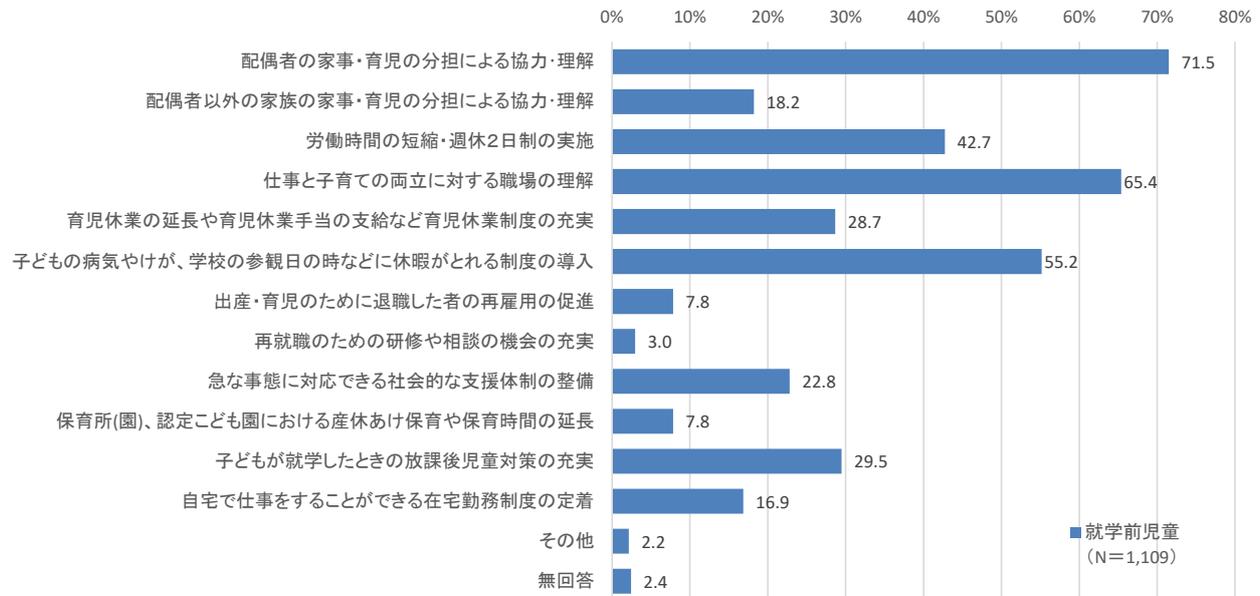
就学前児童 N=1,109



④仕事と子育てを両立させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。4つまで○
(複数回答)

「配偶者の家事・育児の分担による協力・理解」の割合が71.5%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立に対する職場の理解」65.4%、「子どもの病気やけが、学校の参観日の時などに休暇がとれる制度の導入」55.2%、「労働時間の短縮・週休2日制の実施」42.7%と他は以下のとおりとなっています。

仕事と子育ての両立に必要なこと



日向市
子ども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査
調査集計報告書

発行日 令和6年8月

発行 日向市 福祉部 こども課

〒883-8555 宮崎県日向市本町10番5号

電話 0982-52-2111
